

平成23年度

桑名保健福祉事務所年報

(平成24年版)



(三重県桑名庁舎)



(三重県四日市庁舎)

三重県桑名保健福祉事務所

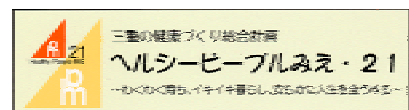
〒511-8567 桑名市中央町5丁目71番地

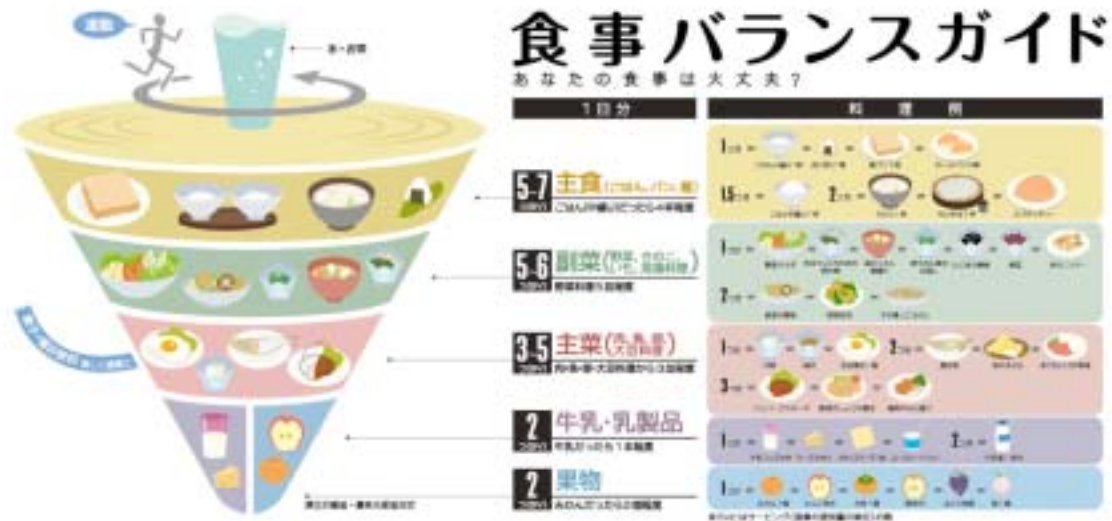
三重県桑名庁舎内

TEL 0594-24-3621(代表)

FAX 0594-24-3692

<http://www.pref.mie.lg.jp/WHOKEN/HP/>





三重県桑名保健福祉事務所

<http://www.pref.mie.lg.jp/WHOKEN/HP/>

保健衛生室(桑名保健所)

511-8567 三重県桑名市中央町5丁目71番地

総務企画課	0594-24-3621
健康増進課	0594-24-3625
地域保健課	0594-24-3620
衛生指導課	0594-24-3623
ファックス	0594-24-3692

福祉相談室(北勢福祉事務所)

510-8511 三重県四日市市新正4丁目21番5号

福祉課	059-352-0586
生活保護課	059-352-0235
ファックス	059-352-0598

平成23年度桑名保健福祉事務所年報(平成24年9月発行)

目 次

1 管内概況

(1) 管内略図 1
(2) 桑名保健福祉事務所（桑名保健所）の位置図 1
(3) 桑名保健福祉事務所（北勢福祉事務所）の位置図 3
(4) 桑名保健福祉事務所（平成24年度体制）の概要 4
(5) 管内の状況 5
(6) 人口動態統計 8

2 三重県民カビジョン

1 三重県民カビジョン・行動計画における事業実績16
2 三重県民カビジョン・行動計画の政策体系16

施策111 防災・減災対策の推進

基本事業11105 災害医療体制の整備

1 災害拠点病院17
2 地域災害拠点薬局17

施策113 食の安全・安心の確保

基本事業11301 食品の安全・安心の確保

1 食品衛生18
2 食品表示等指導相談事業21

施策114 感染症の予防と体制の整備

基本事業11402 感染症危機管理体制の整備

1 感染症の予防事業22
------------	---------

基本事業11403 感染症対策のための相談・検査の推進

1 エイズ対策促進事業23
2 予防接種24
3 結核予防事業25

施策121 医師確保と医療体制の整備

基本事業12101 医療分野の人材確保

- 1 保健師活動状況29
- 2 看護学生等保健所実習指導29
- 3 医師臨床研修受入状況29

基本事業12102 救急・へき地等の医療の確保

- 1 地域救急医療対策事業30
- 2 医療機能分化推進・啓発事業30
- 3 救急告示医療機関31

基本事業12103 医療の質の向上

- 1 医務32

施策123 こころと身体健康対策の推進

基本事業12301 健康づくり活動の推進

- 1 健康食育推進事業34
- 2 「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業37
- 3 たばこ対策38

基本事業12302 こころの健康づくりの推進

- 1 こころの健康づくり（自殺予防対策）研修会40
- 2 啓発活動事業40
- 3 人材育成事業40

基本事業12303 生活習慣病・難病対策の推進

- 1 原子爆弾被爆者対策事業41
- 2 難病在宅ケア事業42
- 3 特定疾患治療研究事業43
- 4 肝炎治療特別促進事業45
- 5 健康増進事業46
- 6 骨髄バンク47
- 7 臓器移植啓発事業47

施策134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保

基本事業13401 薬物乱用防止対策の推進

- 1 薬物乱用防止対策48

基本事業13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保

- 1 薬事49
- 2 献血推進50

基本事業13403 生活衛生営業の衛生水準の確保

- 1 環境衛生51

基本事業13404 人と動物との共生環境づくり

- 1 狂犬病予防52
- 2 動物愛護53
- 3 動物飼う前教室53
- 4 動物取扱業53

施策141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実

基本事業14101 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上

- 1 介護保険制度54

基本事業14102 介護基盤の整備促進

- 1 高齢者福祉55

施策142 障がい者の自立と共生

基本事業14201 障がい者福祉サービスの基盤整備の推進

- 1 障がい者小規模作業所事業費補助金57

基本事業14202 障がい者福祉サービスの充実

- 1 障がい者福祉58
- 2 障がい福祉サービス事業所59

基本事業14204 精神障がい者の保健医療の確保

- 1 精神保健医療対策事業61

基本事業14205 障がい者の社会参加環境づくり

- 1 精神障がい者地域生活支援事業62
- 2 精神障がい者社会復帰推進事業62

施策143 支え合いの福祉社会づくり

基本事業14301 地域福祉活動と権利擁護の推進

- 1 民生委員・児童委員等配置状況65
- 2 社会福祉施設等66

基本事業14305 生活困窮者の生活保障と自立支援

- 1 生活保護68

施策212 男女共同参画の社会づくり

基本事業21204 性別に基づく暴力等への取組

- 1 女性相談事業69

施策232 子育て支援策の推進

基本事業23201 保育・放課後児童対策等の充実

- 1 児童福祉71

基本事業23202 母子保健対策の推進

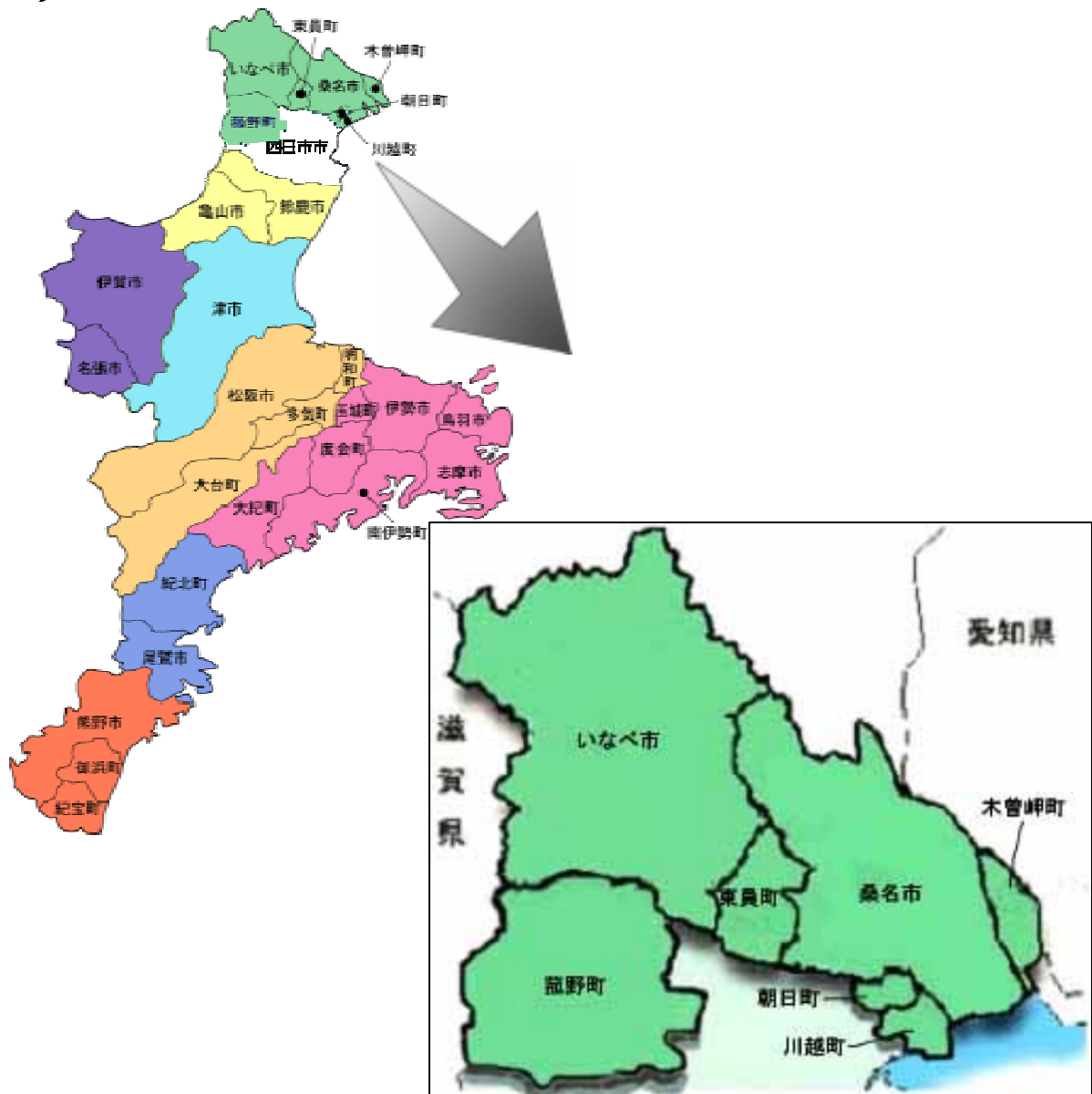
- 1 母子保健対策事業73
- 2 母子医療対策事業75
- 3 母体保護事業77

基本事業23203 ひとり親家庭等の自立の支援

- 1 母子福祉事業78

桑名保健福祉事務所(保健所)の沿革79

1 管内概況
 (1) 管内略図



(2) 桑名保健福祉事務所 (桑名保健所)
 ア 位置図



イ 詳細位置図



- ウ 交通 JR・近鉄：「桑名駅」から徒歩15分
 自動車： 東名阪自動車道「桑名IC」桑名市方面へ(国道1号を右折)約15分
 国道1号線 (名古屋方面から)市役所前交差点50m先左折
 (四日市方面から)浅川交差点右折すぐ左折
 国道23号線 地蔵交差点から 約5分

エ 名称、住所

三重県桑名保健福祉事務所（桑名庁舎内） （併置機関：桑名保健所）
 〒 511 - 8567 三重県桑名市中央町5 - 7 1
 代表電話 0594-24-3621 Fax 0594-24-3692

オ 健康診断・相談等日程

1) 健康相談

平成23年4月1日現在

	項目	受付時間	備考
火曜日	骨髄バンク登録受付	9 : 30 ~ 11 : 00	毎週火曜（予約制）
	特定感染症（エイズ含む） 相談・検査	13 : 00 ~ 14 : 30	毎週火曜
水曜日	こころの健康相談	奇数月 9 : 30 ~ 偶数月 13 : 30 ~	第4水曜（予約制）
木曜日	感染症健康診断（結核）	14 : 30 ~ 15 : 00	第1・3木曜（予約制）

(3) 桑名保健福祉事務所（北勢福祉事務所）

ア 位置図



イ 詳細位置図



ウ 交通 近鉄： 名古屋線「新正駅」徒歩5分
自動車： 国道1号線 南警察署前交差点 すぐ

エ 名称、住所

三重県桑名保健福祉事務所（四日市庁舎内） （併置機関：北勢福祉事務所）
〒 510 - 8511 三重県四日市市新正4丁目21番5号
代表電話 059-352-0586 Fax 059-352-0598

(4) 桑名保健福祉事務所の概要 (平成24年度体制)

桑名保健福祉事務所組織及び所掌事務 (メールアドレス: whoken@pref.mie.jp)

<p>所長 長坂 裕二 TEL 0594-24-3621</p> <p>副所長 (福祉相談室長兼務) 市野 文夫 TEL 059-352-0580</p>	<p>福祉相談室</p>	<p>(福祉課 8名) TEL 059-352-0586 ・高齢者福祉 介護保険 ・身体・知的障がい者福祉 ・障がい者自立支援制度 ・保育所等児童福祉 福祉行政報告例 ・民生委員組織活動支援 特別障害者手当等 ・ユニバーサルデザイン 女性相談、ひとり親家庭相談</p> <p>(生活保護課 5名) TEL 059-352-0235 ・生活保護</p>	<p>課長 板谷 俊夫</p> <p>課長 川北 博道</p>																								
<p>室長 三谷 賢二 TEL 0594-24-3621</p>	<p>保健衛生室</p>	<p>(総務企画課 6名) TEL 0594-24-3621 ・医療、福祉従事者の免許申請 ・災害救助 衛生統計 保健医療計画 ・医療・保健・福祉関係の研修 ・原子爆弾被害者対策</p> <p>(健康増進課 9名) TEL 0594-24-3625 ・感染症(発生動向調査)対策 ・結核医療・予防 エイズ相談・検査 ・病院・診療所開設許可(届け) ・ヘルシーピープルみえ・21 ・保健栄養対策 歯科保健 ・こころの健康づくり 医療監視業務</p> <p>(地域保健課 9名) TEL 0594-24-3620 ・難病、特定疾患対策 ・小児慢性特定疾患 養育医療給付 ・自立支援医療(育成)給付 ・母子保健 精神保健福祉 ・特定不妊治療費助成事業</p> <p>(衛生指導課 11名) TEL 0594-24-3623 ・食品衛生 動物愛護推進 ・医薬品、毒劇物 墓地及び火葬場 ・旅館、公衆浴場、興行場 献血、骨髄バンク登録推進 ・理容、美容、クリーニング(免許申請・調理師免許含む) ・大規模食品販売業・大量調理施設・製造業監視指導 ・食品表示</p>	<p>課長 坂倉 浩</p> <p>課長 石河 真人</p> <p>課長 谷出 早由美</p> <p>課長 佐藤 和彦</p>																								
<p>職種別職員数</p> <table border="0"> <tr> <td>一般事務等</td> <td>26</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>獣医師</td> <td>6</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>4</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>9</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>3</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51</td> <td>名</td> </tr> </table>		一般事務等	26	名	医師	1	名	獣医師	6	名	薬剤師	4	名	保健師	9	名	診療放射線技師	3	名	管理栄養士	2	名	合計	51	名		
一般事務等	26	名																									
医師	1	名																									
獣医師	6	名																									
薬剤師	4	名																									
保健師	9	名																									
診療放射線技師	3	名																									
管理栄養士	2	名																									
合計	51	名																									

(5) 管内の状況

ア 市町の面積・世帯数及び人口の状況

資料：三重県政策部統計室

種別 市町	平成22年国勢調査		平成23年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人/km ²)		
計	100,885	282,097	516.16	102,216	282,896	548.1	101.3%	100.3%
桑名市	51,525	140,290	136.61	52,173	140,603	1,029.2	101.3%	100.2%
いなべ市	15,972	45,684	219.58	16,171	45,709	208.2	101.2%	100.1%
木曾岬町	2,250	6,855	15.72	2,292	6,835	434.8	101.9%	99.7%
東員町	8,580	25,661	22.66	8,649	25,631	1,131.1	100.8%	99.9%
菰野町	13,568	39,978	106.89	13,738	40,078	374.9	101.3%	100.3%
朝日町	3,389	9,626	5.99	3,467	9,831	1,641.2	102.3%	102.1%
川越町	5,601	14,003	8.71	5,726	14,209	1,631.3	102.2%	101.5%
三重県	704,607	1,854,724	5,777.31	709,355	1,848,107	319.9	100.7%	99.6%

イ 管内市町の状況

平成15年12月1日

北勢町、員弁町、大安町、藤原町が合併し、いなべ市となる。

平成16年12月6日

桑名市、多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

平成20年4月1日

菰野町、朝日町、川越町が管内となる。

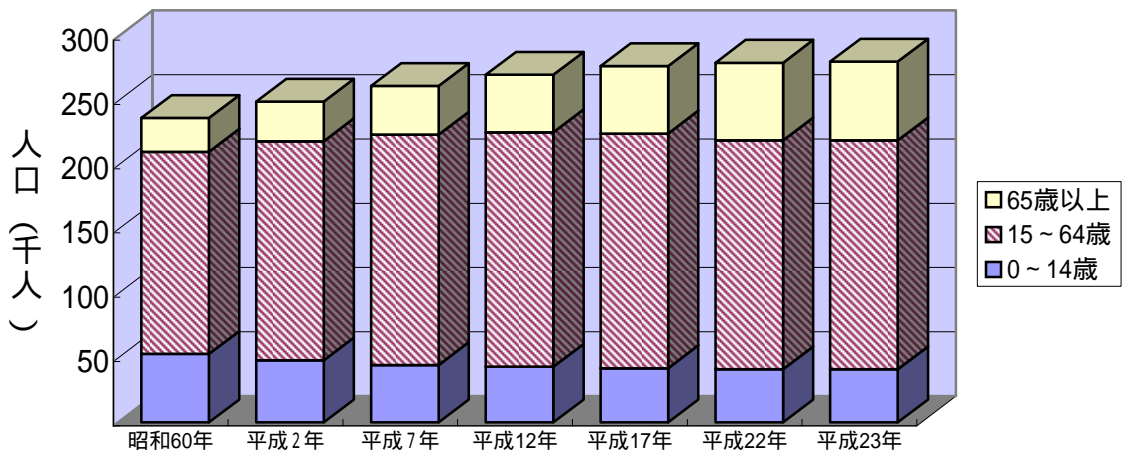


(ウ) 管内人口の推移

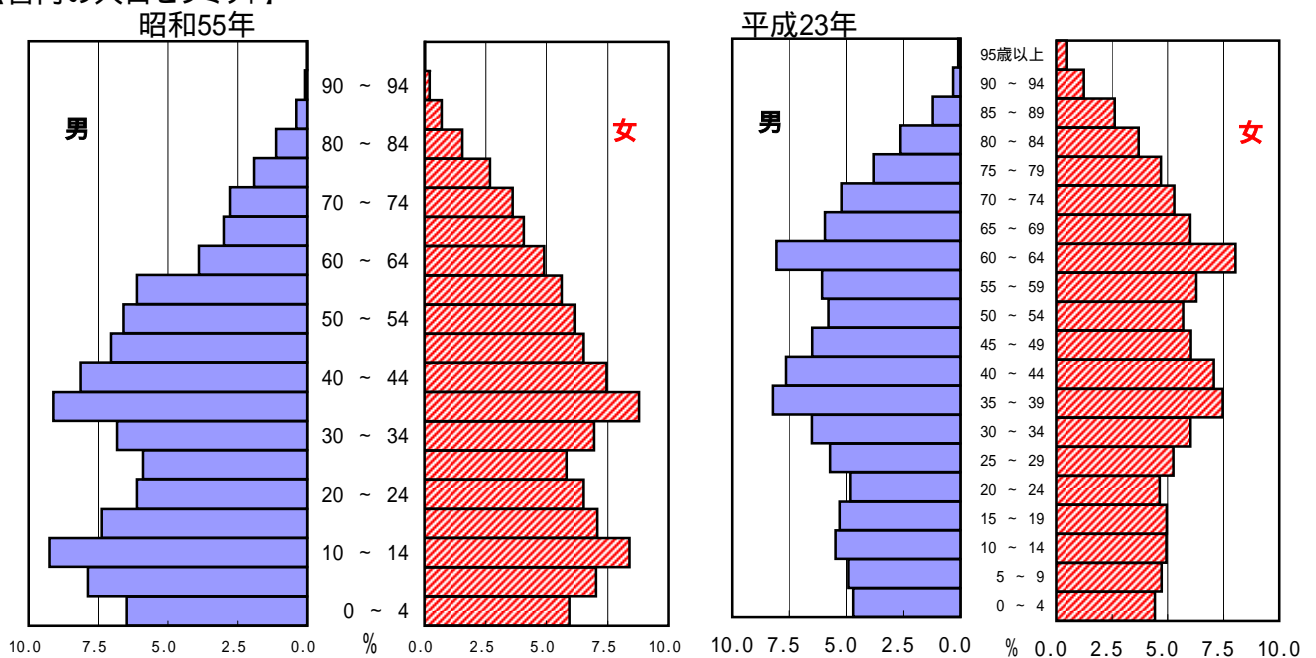
資料：三重県政策部統計室 (各年10月1日現在人口)

	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成23年 2011年
計	249,533	261,687	270,433	277,419	282,097	282,896
桑名市	124,042	129,595	134,856	138,963	140,290	140,603
いなべ市	43,882	45,746	45,630	46,446	45,684	45,709
木曾岬町	7,167	7,231	7,172	6,965	6,855	6,835
東員町	25,447	26,235	26,305	25,897	25,661	25,631
菰野町	32,263	35,117	37,972	38,986	39,978	40,078
朝日町	6,744	6,900	6,716	7,114	9,626	9,831
川越町	9,988	10,863	11,782	13,048	14,003	14,209

桑名管内(菰野、朝日、川越含む)の3区分別人口割合の推移



【管内の人口ピラミッド】



(工) 管内市町の人口構成

(平成23年10月1日現在)

(平成23年10月1日現在)

市町村名	総人口	年齢区分別人口 (年齢不詳を除く)			少年人口 (18歳未満人口)				
		年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	0~5歳	6~11歳	12~14歳	15~17歳	計
管内	282,896	41,250	178,155	61,128	15,527	16,930	8,793	8,799	50,049
桑名市	140,603	20,243	88,201	30,326	7,572	8,240	4,431	4,446	24,689
いなべ市	45,709	6,295	29,059	10,341	2,277	2,584	1,434	1,508	7,803
木曽岬町	6,835	783	4,419	1,633	283	321	179	193	976
東員町	25,631	3,408	16,720	5,450	1,251	1,464	693	668	4,076
菰野町	40,078	6,079	24,636	9,112	2,187	2,520	1,372	1,345	7,424
朝日町	9,831	2,113	5,912	1,763	977	876	260	228	2,341
川越町	14,209	2,329	9,208	2,503	980	925	424	411	2,740
三重県	1,848,107	250,891	1,136,536	448,508	94,160	102,370	54,361	55,761	306,652

資料：三重県政策部統計室

(平成23年10月1日現在)

(平成23年10月1日現在)

	年齢区分別割合		
	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
管内	14.6	63.0	21.6
桑名市	14.4	62.7	21.6
いなべ市	13.8	63.6	22.6
木曽岬町	11.5	64.7	23.9
東員町	13.3	65.2	21.3
菰野町	15.2	61.5	22.7
朝日町	21.5	60.1	17.9
川越町	16.4	64.8	17.6
三重県	13.6	61.5	24.3

年齢構成指数			
年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
23.2	34.3	57.5	148.2
23.0	34.4	57.3	149.8
21.7	35.6	57.2	164.3
17.7	37.0	54.7	208.6
20.4	32.6	53.0	159.9
24.7	37.0	61.7	149.9
35.7	29.8	65.6	83.4
25.3	27.2	52.5	107.5
22.1	39.5	61.5	178.8

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(6) 人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成22年の人口動態（確定数）の概況は表1のとおりです。

人口動態確定数は、平成20年から桑名管内には菰野町、朝日町、川越町が含まれたデータを掲載しました。（以下3町を含んだデータで比較）

(ア) 出生

管内の出生数は2,550人で前年より35人増加しました。出生率は9.0で三重県の8.4と比べると0.6ポイント高く、全国よりも高くなっています。

(イ) 死亡

管内の死亡数は2,565人で前年より246人増加しました。死亡率は9.1で、三重県の10.3、全国の9.5より下回っています。

(ウ) 乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されています。管内の乳児死亡数は5人で、前年より3人減少しており、新生児死亡数は1人で前年より3人減少しています。

(エ) 死産

管内の死産数は60人で、前年より1人増加しました。
自然死産率は14.2であり人工死産率は8.8です。

(オ) 周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標です。周産期死亡数は19人で前年に比べ14人増加し、周産期死亡率は7.4です。このうち、特に妊娠22週以後の死産が増加しています。

(カ) 婚姻と離婚

婚姻件数は1,434組で前年より44組減少しました。婚姻率は5.1で三重県の値より0.1ポイント低くなっています。

離婚件数は494件で前年より45件増加しました。離婚率は1.75で三重県の値と比較すると0.15ポイント低くなっています。

(キ) 自然増加

管内の自然増加率は-0.1ポイントで前年の増加からマイナスに転じました。三重県は-1.9ポイントで平成17年から減少傾向です。

イ 死亡の動向

主な死因別の死亡状況を表2、うち悪性新生物部位別死亡状況を表3に示しました。

分母に用いた人口は、三重県データバンクシステムにより算出した平成22年10月1日現在推計人口（外国籍人口含む）によります。

第1位悪性新生物735人、第2位心疾患395人、第3位脳血管疾患274人、第4位肺炎255人で平成19年から肺炎が第3位となっていました。3位と4位が逆転しました。

ウ 各種グラフ

合計特殊出生率、乳児死亡率、年齢調整死亡率等の推移及び平成22年の年齢調整死亡率上位5疾患をグラフ1に示しました。

表1 人口動態総覧（実数、率） 市町村別

平成22年確定数

市町 (県・ 全国)	人口 (10月1 日)	出生			低体重児 (再掲)			死亡			乳児死亡 (再掲)			新生 児死 亡 (再 掲)	自然 増加 数	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	合計 特殊 出生 率
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			総数	自然	人工	総数	妊娠満 22週以 後の死 産	早期新 生児死 亡			
全国	126,381,728	1,071,304	550,742	520,562	103,049	46,996	56,053	1,197,012	633,700	563,312	2,450	1,355	1,095	1,167	125,708	26,560	12,245	14,315	4,515	3,637	878	700,214	251,378	
三重県	1,821,502	15,262	7,865	7,397	1,401	645	756	18,691	9,674	9,017	37	25	12	14	3,429	335	182	153	67	57	10	9,396	3,461	
管内	282,097	2,550	1,318	1,232	233	99	134	2,565	1,338	1,227	5	3	2	1	15	60	37	23	19	18	1	1,434	494	
桑名市	140,290	1,242	642	600	111	49	62	1,199	628	571	4	2	2	1	43	28	20	8	13	12	1	716	232	
いなべ市	45,684	371	187	184	29	10	19	538	280	258	1	1	0	0	167	9	6	3	4	4	0	224	64	
木曾岬町	6,855	37	15	22	0	0	0	64	39	25	0	0	0	0	27	3	1	2	0	0	0	27	12	
東員町	25,661	185	101	84	22	7	15	206	103	103	0	0	0	0	21	3	2	1	0	0	0	104	37	
菰野町	39,978	349	190	159	39	18	21	369	189	180	0	0	0	0	20	9	3	6	2	2	0	216	89	
朝日町	9,626	172	93	79	15	7	8	84	46	38	0	0	0	0	88	2	1	1	0	0	0	43	19	
川越町	14,003	194	90	104	17	8	9	105	53	52	0	0	0	0	89	6	4	2	0	0	0	104	41	
率	全国	8.5	8.9	8.0	96.2	85.3	107.7	9.5	10.3	8.7	2.3	2.5	2.1	1.1	1.0	24.2	11.2	13.0	4.2	3.4	0.8	5.5	1.99	1.39
三重県	8.4	8.9	7.9	91.8	82.0	102.2	10.3	10.9	9.7	2.4	3.2	1.6	0.9	1.9	21.5	11.7	9.8	4.4	3.7	0.7	5.2	1.90	1.51	
管内	9.0	9.5	8.6	91.4	75.1	108.8	9.1	9.6	8.6	2.0	2.3	1.6	0.4	0.1	23.0	14.2	8.8	7.4	7.0	0.4	5.1	1.75	1.50	
桑名市	8.9	9.3	8.4	89.4	76.3	103.3	8.5	9.1	8.0	3.2	3.1	3.3	0.8	0.3	22.0	15.7	6.3	10.4	9.6	0.8	5.1	1.65	1.46	
いなべ市	8.1	8.1	8.1	78.2	53.5	103.3	11.8	12.1	11.4	2.7	5.3	0.0	0.0	3.7	23.7	15.8	7.9	10.7	10.7	0.0	4.9	1.40	1.46	
木曾岬町	5.4	4.4	6.4	0.0	0.0	0.0	9.3	11.4	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.9	1.75	1.00	
東員町	7.2	8.1	6.4	118.9	69.3	178.6	8.0	8.2	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	16.0	10.6	5.3	0.0	0.0	0.0	4.1	1.44	1.21	
菰野町	8.7	9.8	7.7	111.7	94.7	132.1	9.2	9.7	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	25.1	8.4	16.8	5.7	5.7	0.0	5.4	2.23	1.56	
朝日町	17.9	19.4	16.4	87.2	75.3	101.3	8.7	9.6	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	11.5	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	4.5	1.97	2.29	
川越町	13.9	12.7	15.1	87.6	88.9	86.5	7.5	7.5	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	7.4	2.93	1.96	
率の算出方法		人口千対	男子人口 千対	女子人口 千対	出生千対	男子出生 千対	女子出生 千対	人口千対	男子人口 千対	女子人口 千対	出生千対	男子出生 千対	女子出生 千対	出生千対	人口千対	出産(出生+死産) 千対			出産(出生+妊娠満22週以後 の死産)千対			人口千対		

は減を示す。低体重児は出生体重2,500g未満のもの。乳児死亡は生後1年未満の死亡。

新生児死亡は生後4週未満の死亡。早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。

死産は妊娠12週以後の死産の出産。後期死産は妊娠22週以後の死産。自然増加は出生数-死亡数。

分母に用いた人口は、三重県データバンクシステムにより計算しているため、厚生労働省の公表値と若干異なっています。

表 2

死亡の動向 (1)
市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)、年齢調整死亡率(人口10万人対)

(平成22年確定数)

		総数			結核			悪性新生物			糖尿病			高血圧性疾患		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	18,691	9,674	9,017	24	16	8	5,058	3,075	1,983	227	118	109	112	38	74
	率	[1026.1]	[1090.3]	[965.2]	[1.3]	[1.8]	[0.9]	[277.7]	[346.6]	[212.3]	[12.5]	[13.3]	[11.7]	[6.1]	[4.3]	[7.9]
	年齢調整死亡率	392.2	538.1	276.4	0.42	0.74	0.22	122.3	172.4	84.1	4.95	6.73	3.37	1.63	1.76	1.50
管内	死亡数	2,565	1,338	1,227	2	0	2	735	464	271	26	9	17	10	4	6
	率	[909.3]	[960.9]	[858.9]	[0.7]	[0.0]	[1.4]	[260.5]	[333.2]	[189.7]	[9.2]	[6.5]	[11.9]	[3.5]	[2.9]	[4.2]
	年齢調整死亡率	394.4	542.2	274.6	0.22	0.00	0.34	132.0	191.0	86.1	3.82	3.83	3.48	1.05	1.38	0.79
桑名市	死亡数	1,199	628	571	0	0	0	343	217	126	14	4	10	4	1	3
	率	[854.7]	[911.3]	[800.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[244.5]	[314.9]	[176.5]	[10.0]	[5.8]	[14.0]	[2.9]	[1.5]	[4.2]
	年齢調整死亡率	380.3	519.7	264.5	0.00	0.00	0.00	124.0	178.2	82.3	4.01	3.19	4.19	0.93	0.83	0.73
いなべ市	死亡数	538	280	258	0	0	0	139	80	59	4	3	1	3	2	1
	率	[1177.7]	[1214.9]	[1139.8]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[304.3]	[347.1]	[260.6]	[8.8]	[13.0]	[4.4]	[6.6]	[8.7]	[4.4]
	年齢調整死亡率	441.6	625.9	283.5	0.00	0.00	0.00	134.7	186.2	91.3	4.16	8.20	0.58	1.81	3.22	1.20
木曾岬町	死亡数	64	39	25	0	0	0	27	21	6	2	0	2	0	0	0
	率	[933.6]	[1137.0]	[729.9]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[393.9]	[612.2]	[175.2]	[29.2]	[0.0]	[58.4]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	420.0	632.3	246.5	0.00	0.00	0.00	175.8	323.1	47.2	9.44	0.00	14.09	0.00	0.00	0.00
東員町	死亡数	206	103	103	0	0	0	61	37	24	2	1	1	1	1	0
	率	[802.8]	[822.4]	[784.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[237.7]	[295.4]	[182.7]	[7.8]	[8.0]	[7.6]	[3.9]	[8.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	358.1	469.0	275.5	0.00	0.00	0.00	126.4	166.4	100.4	3.71	3.75	2.62	1.02	4.35	0.00
菰野町	死亡数	369	189	180	1	0	1	106	67	39	3	1	2	0	0	0
	率	[923.0]	[973.0]	[875.7]	[2.5]	[0.0]	[4.9]	[265.1]	[344.9]	[189.7]	[7.5]	[5.1]	[9.7]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	393.5	539.4	290.9	0.87	0.00	1.40	134.4	198.5	87.6	2.95	2.26	3.73	0.00	0.00	0.00
朝日町	死亡数	84	46	38	0	0	0	30	23	7	1	0	1	1	0	1
	率	[872.6]	[957.5]	[788.1]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[311.7]	[478.8]	[145.2]	[10.4]	[0.0]	[20.7]	[10.4]	[0.0]	[20.7]
	年齢調整死亡率	489.6	656.4	323.1	0.00	0.00	0.00	207.3	351.1	67.1	4.60	0.00	8.01	3.16	0.00	4.59
川越町	死亡数	105	53	52	1	0	1	29	19	10	0	0	0	1	0	1
	率	[749.8]	[746.7]	[753.1]	[7.1]	[0.0]	[14.5]	[207.1]	[267.7]	[144.8]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[7.1]	[0.0]	[14.5]
	年齢調整死亡率	383.4	505.5	296.7	2.04	0.00	2.67	136.4	193.1	105.6	0.00	0.00	0.00	2.04	0.00	2.67

死因別死亡率 = $\frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$
 年齢調整死亡率 = $\frac{\{\text{観察集団の各年齢階級の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢階級の人口}\} \text{の各年齢階級の総和}}{\text{基準となる人口集団の総和(昭和60年モデル人口)}} \times 100,000$

表 2

(2)

(平成22年確定数)

		心疾患 (高血圧性を除く)			脳血管疾患			大動脈瘤及び解離			肺炎			慢性閉塞性肺疾患		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	2,890	1,345	1,545	1,902	872	1,030	283	167	116	1,803	975	828	286	226	60
	率	[158.7]	[151.6]	[165.4]	[104.4]	[98.3]	[110.3]	[15.5]	[18.8]	[12.4]	[99.0]	[109.9]	[88.6]	[15.7]	[25.5]	[6.4]
	年齢調整死亡率	55.6	74.1	39.7	35.8	45.9	27.6	5.99	8.96	3.72	29.0	46.1	18.0	4.99	10.49	1.49
管内	死亡数	395	178	217	274	120	154	33	17	16	255	131	124	31	28	3
	率	[140.0]	[127.8]	[151.9]	[97.1]	[86.2]	[107.8]	[11.7]	[12.2]	[11.2]	[90.4]	[94.1]	[86.8]	[11.0]	[20.1]	[2.1]
	年齢調整死亡率	55.6	72.7	40.0	37.5	46.2	29.1	4.69	6.35	3.36	30.9	47.1	19.6	3.75	9.56	0.45
桑名市	死亡数	191	90	101	137	56	81	13	6	7	113	60	53	17	16	1
	率	[136.1]	[130.6]	[141.5]	[97.7]	[81.3]	[113.5]	[9.3]	[8.7]	[9.8]	[80.5]	[87.1]	[74.3]	[12.1]	[23.2]	[1.4]
	年齢調整死亡率	56.0	73.7	39.5	39.6	46.4	30.2	3.52	4.39	2.95	27.5	44.1	16.1	3.99	11.01	0.47
いなべ市	死亡数	83	30	53	59	30	29	8	5	3	49	23	26	8	8	0
	率	[181.7]	[130.2]	[234.1]	[129.1]	[130.2]	[128.1]	[17.5]	[21.7]	[13.3]	[107.3]	[99.8]	[114.9]	[17.5]	[34.7]	[0.0]
	年齢調整死亡率	59.0	68.0	47.7	37.2	55.8	24.8	6.01	10.86	1.74	31.1	44.8	19.5	6.12	15.18	
木曾岬町	死亡数	7	4	3	5	3	2	1	0	1	4	3	1	0	0	0
	率	[102.1]	[116.6]	[87.6]	[72.9]	[87.5]	[58.4]	[14.6]	[0.0]	[29.2]	[58.4]	[87.5]	[29.2]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	45.2	59.3	42.6	27.0	42.7	14.1	7.28	0.00	14.65	18.9	43.9	9.7	0.00	0.00	0.00
東員町	死亡数	34	15	19	17	7	10	3	2	1	23	8	15	2	2	0
	率	[132.5]	[119.8]	[144.6]	[66.2]	[55.9]	[76.1]	[11.7]	[16.0]	[7.6]	[89.6]	[63.9]	[114.2]	[7.8]	[16.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	49.3	63.8	36.9	26.5	34.1	19.4	5.29	8.94	1.34	33.7	37.4	29.5	3.19	9.54	0.00
菰野町	死亡数	50	27	23	36	13	23	5	4	1	50	28	22	1	0	1
	率	[125.1]	[139.0]	[111.9]	[90.0]	[66.9]	[111.9]	[12.5]	[20.6]	[4.9]	[125.1]	[144.2]	[107.0]	[2.5]	[0.0]	[4.9]
	年齢調整死亡率	53.1	81.7	31.6	34.5	31.2	38.7	5.88	10.44	3.05	44.2	69.5	30.1	0.52	0.00	0.68
朝日町	死亡数	16	6	10	9	5	4	1	0	1	7	5	2	1	1	0
	率	[166.2]	[124.9]	[207.4]	[93.5]	[104.1]	[83.0]	[10.4]	[0.0]	[20.7]	[72.7]	[104.1]	[41.5]	[10.4]	[20.8]	[0.0]
	年齢調整死亡率	73.3	72.7	67.5	57.5	77.1	42.7	3.16	0.00	4.59	36.0	68.7	9.2	6.09	14.50	0.00
川越町	死亡数	14	6	8	11	6	5	2	0	2	9	4	5	2	1	1
	率	[100.0]	[84.5]	[115.9]	[78.6]	[84.5]	[72.4]	[14.3]	[0.0]	[29.0]	[64.3]	[56.4]	[72.4]	[14.3]	[14.1]	[14.5]
	年齢調整死亡率	48.8	64.0	27.2	37.3	55.2	21.0	7.41	0.00	12.97	27.1	34.6	18.1	5.31	7.95	2.67

表 2

(3)

(平成22年確定数)

		喘息			肝疾患			腎不全			老衰			不慮の事故			自殺		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	27	17	10	205	131	74	369	185	184	1,136	277	859	779	441	338	351	254	97
	率	[1.5]	[1.9]	[1.1]	[11.3]	[14.8]	[7.9]	[20.3]	[20.8]	[19.7]	[62.4]	[31.2]	[92.0]	[42.8]	[49.7]	[36.2]	[19.3]	[28.6]	[10.4]
	年齢調整死亡率	0.52	0.88	0.29	5.61	8.83	2.66	6.30	9.12	4.24	13.7	11.7	14.2	20.4	29.3	12.6	16.4	24.3	8.7
管内	死亡数	2	0	2	22	13	9	43	29	14	148	37	111	108	57	51	45	36	9
	率	[0.7]	[0.0]	[1.4]	[7.8]	[9.3]	[6.3]	[15.2]	[20.8]	[9.8]	[52.5]	[26.6]	[77.7]	[38.3]	[40.9]	[35.7]	[16.0]	[25.9]	[6.3]
	年齢調整死亡率	0.26	0.00	0.42	4.06	5.68	2.58	6.04	10.89	2.49	13.4	11.9	13.9	19.7	26.0	13.9	14.8	24.8	4.7
桑名市	死亡数	1	0	1	9	7	2	15	13	2	58	17	41	58	33	25	21	16	5
	率	[0.7]	[0.0]	[1.4]	[6.4]	[10.2]	[2.8]	[10.7]	[18.9]	[2.8]	[41.3]	[24.7]	[57.4]	[41.3]	[47.9]	[35.0]	[15.0]	[23.2]	[7.0]
	年齢調整死亡率	0.18	0.00	0.24	3.68	6.40	1.42	4.50	10.05	0.71	11.2	11.3	10.8	19.2	26.8	12.9	15.0	24.7	5.4
いなべ市	死亡数	1	0	1	5	3	2	18	12	6	32	5	27	22	13	9	10	8	2
	率	[2.2]	[0.0]	[4.4]	[10.9]	[13.0]	[8.8]	[39.4]	[52.1]	[26.5]	[70.0]	[21.7]	[119.3]	[48.2]	[56.4]	[39.8]	[21.9]	[34.7]	[8.8]
	年齢調整死亡率	1.01	0.00	1.88	5.73	7.31	4.19	14.14	24.86	5.63	14.3	8.0	16.3	23.2	37.0	9.7	20.9	34.4	5.0
木曾岬町	死亡数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	2	4	4	0
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[43.8]	[29.2]	[58.4]	[29.2]	[0.0]	[58.4]	[58.4]	[116.6]	[0.0]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.9	13.6	8.7	22.4	0.0	44.2	54.3	101.9	0.0
東員町	死亡数	0	0	0	2	1	1	4	2	2	8	2	6	5	2	3	5	4	1
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[7.8]	[8.0]	[7.6]	[15.6]	[16.0]	[15.2]	[31.2]	[16.0]	[45.7]	[19.5]	[16.0]	[22.8]	[19.5]	[31.9]	[7.6]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	3.38	3.55	2.62	6.43	9.41	3.96	11.1	8.6	13.2	7.9	8.9	5.3	15.3	22.5	10.2
菰野町	死亡数	0	0	0	3	0	3	2	1	1	36	11	25	17	6	11	5	4	1
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[7.5]	[0.0]	[14.6]	[5.0]	[5.1]	[4.9]	[90.0]	[56.6]	[121.6]	[42.5]	[30.9]	[53.5]	[12.5]	[20.6]	[4.9]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	2.23	0.00	3.50	1.38	2.26	0.68	20.0	23.6	19.2	25.2	26.0	22.7	11.2	20.6	2.1
朝日町	死亡数	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2	2	2	0	0	0	0
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[20.8]	[0.0]	[41.5]	[20.8]	[0.0]	[41.5]	[20.8]	[41.6]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.20	0.00	21.20	6.3	0.0	9.2	12.9	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
川越町	死亡数	0	0	0	3	2	1	2	1	1	9	1	8	2	1	1	0	0	0
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[21.4]	[28.2]	[14.5]	[14.3]	[14.1]	[14.5]	[64.3]	[14.1]	[115.9]	[14.3]	[14.1]	[14.5]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	13.50	18.34	9.17	7.36	11.61	2.67	19.6	8.6	24.3	14.0	9.4	21.7	0.0	0.0	0.0

表3 市別悪性新生物死亡数・死亡率（人口10万人対）、年齢調整死亡率（人口10万人対）
（ 1 ）

（平成22年確定数）

		悪性新生物 総数			内訳														
					食道			胃			結腸			直腸S状結腸移行部及び直腸			肝及び肝内胆管		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	5,058	3,075	1,983	130	110	20	734	469	265	390	209	181	205	136	69	430	289	141
	率	[277.7]	[346.6]	[212.3]	[7.1]	[12.4]	[2.1]	[40.3]	[52.9]	[28.4]	[21.4]	[23.6]	[19.4]	[11.3]	[15.3]	[7.4]	[23.6]	[32.6]	[15.1]
	年齢調整死亡率	122.3	172.4	84.1	3.58	6.46	1.19	16.8	25.7	9.9	8.88	11.61	6.81	5.60	8.48	3.17	10.5	16.8	5.2
管内	死亡数	735	464	271	22	18	4	114	73	41	48	27	21	34	20	14	65	45	20
	率	[260.5]	[333.2]	[189.7]	[7.8]	[12.9]	[2.8]	[40.4]	[52.4]	[28.7]	[17.0]	[19.4]	[14.7]	[12.1]	[14.4]	[9.8]	[23.0]	[32.3]	[14.0]
	年齢調整死亡率	132.0	191.0	86.1	4.32	7.28	1.64	18.5	28.7	10.6	8.5	11.5	5.8	6.8	8.3	5.7	12.2	19.6	5.9
桑名市	死亡数	343	217	126	13	9	4	51	35	16	18	9	9	20	14	6	33	23	10
	率	[244.5]	[314.9]	[176.5]	[9.3]	[13.1]	[5.6]	[36.4]	[50.8]	[22.4]	[12.8]	[13.1]	[12.6]	[14.3]	[20.3]	[8.4]	[23.5]	[33.4]	[14.0]
	年齢調整死亡率	124.0	178.2	82.3	5.10	7.16	3.28	17.3	27.6	9.6	5.9	7.1	4.8	7.9	11.3	5.4	11.7	18.9	6.0
いなべ市	死亡数	139	80	59	3	3	0	20	9	11	10	5	5	4	1	3	14	11	3
	率	[304.3]	[347.1]	[260.6]	[6.6]	[13.0]	[0.0]	[43.8]	[39.0]	[48.6]	[21.9]	[21.7]	[22.1]	[8.8]	[4.3]	[13.3]	[30.6]	[47.7]	[13.3]
	年齢調整死亡率	134.7	186.2	91.3	3.37	6.95	0.00	14.8	19.6	9.8	11.5	13.8	9.1	6.2	4.4	7.5	16.1	30.3	3.0
木曾岬町	死亡数	27	21	6	1	1	0	5	3	2	2	1	1	1	1	0	2	2	0
	率	[393.9]	[612.2]	[175.2]	[14.6]	[29.2]	[0.0]	[72.9]	[87.5]	[58.4]	[29.2]	[29.2]	[29.2]	[14.6]	[29.2]	[0.0]	[29.2]	[58.3]	[0.0]
	年齢調整死亡率	175.8	323.1	47.2	7.28	14.48	0.00	24.3	41.7	19.0	13.5	14.6	9.7	7.3	14.5	0.0	14.4	29.1	0.0
東員町	死亡数	61	37	24	2	2	0	13	7	6	5	4	1	2	0	2	2	1	1
	率	[237.7]	[295.4]	[182.7]	[7.8]	[16.0]	[0.0]	[50.7]	[55.9]	[45.7]	[19.5]	[31.9]	[7.6]	[7.8]	[0.0]	[15.2]	[7.8]	[8.0]	[7.6]
	年齢調整死亡率	126.4	166.4	100.4	3.85	7.29	0.00	21.9	31.2	14.9	10.1	18.7	2.6	4.9	0.0	9.6	4.5	4.7	4.8
菰野町	死亡数	106	67	39	3	3	0	18	13	5	6	4	2	4	2	2	10	5	5
	率	[265.1]	[344.9]	[189.7]	[7.5]	[15.4]	[0.0]	[45.0]	[66.9]	[24.3]	[15.0]	[20.6]	[9.7]	[10.0]	[10.3]	[9.7]	[25.0]	[25.7]	[24.3]
	年齢調整死亡率	134.4	198.5	87.6	4.22	8.94		23.3	36.9	12.3	6.7	10.3	4.5	4.5	4.8	5.2	15.1	19.8	10.6
朝日町	死亡数	30	23	7	0	0	0	3	3	0	4	3	1	2	1	1	2	2	0
	率	[311.7]	[478.8]	[145.2]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[31.2]	[62.4]	[0.0]	[41.6]	[62.4]	[20.7]	[20.8]	[20.8]	[20.7]	[20.8]	[41.6]	[0.0]
	年齢調整死亡率	207.3	351.1	67.1	0.00	0.00	0.00	17.8	37.2	0.0	36.4	62.1	10.5	10.3	14.2	4.6	11.7	25.0	0.0
川越町	死亡数	29	19	10	0	0	0	4	3	1	3	1	2	1	1	0	2	1	1
	率	[207.1]	[267.7]	[144.8]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[28.6]	[42.3]	[14.5]	[21.4]	[14.1]	[29.0]	[7.1]	[14.1]	[0.0]	[14.3]	[14.1]	[14.5]
	年齢調整死亡率	136.4	193.1	105.6	0.00	0.00	0.00	19.5	32.6	9.2	12.89	11.61	14.49	5.33	11.61	0.00	9.5	9.4	9.8

表3

(2)

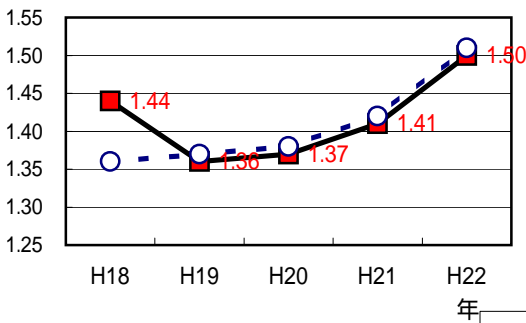
(平成22年確定数)

		内訳																	
		胆のう及びその他の胆道			膵			気管、気管及び肺			乳房			子宮			白血病		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	252	120	132	422	226	196	1,099	836	263	172	1	171	81		81	108	64	44
	率	[13.8]	[13.5]	[14.1]	[23.2]	[25.5]	[21.0]	[60.3]	[94.2]	[28.2]	[9.4]	[0.1]	[18.3]	[8.7]		[8.7]	[5.9]	[7.2]	[4.7]
	年齢調整死亡率	5.2	6.1	4.6	10.26	13.14	7.91	25.6	45.7	9.7	5.39	0.06	10.16	2.61		4.97	3.27	4.47	2.10
管内	死亡数	33	17	16	57	33	24	174	132	42	26	0	26	6		6	25	14	11
	率	[11.7]	[12.2]	[11.2]	[20.2]	[23.7]	[16.8]	[61.7]	[94.8]	[29.4]	[9.2]	[0.0]	[18.2]	[2.1]		[4.2]	[8.9]	[10.1]	[7.7]
	年齢調整死亡率	5.2	6.2	4.9	10.5	14.5	7.0	29.9	52.3	12.1	5.9	0.0	11.3	1.4		2.7	5.7	7.7	3.4
桑名市	死亡数	20	9	11	24	16	8	80	59	21	14	0	14	2		2	7	3	4
	率	[14.3]	[13.1]	[15.4]	[17.1]	[23.2]	[11.2]	[57.0]	[85.6]	[29.4]	[10.0]	[0.0]	[19.6]	[1.4]		[2.8]	[5.0]	[4.4]	[5.6]
	年齢調整死亡率	6.8	6.5	7.7	9.2	14.6	4.7	27.7	47.3	12.3	6.7	0.0	12.8	0.5		0.7	3.3	4.1	2.4
いなべ市	死亡数	6	5	1	16	8	8	28	18	10	1	0	1	3		3	8	4	4
	率	[13.1]	[21.7]	[4.4]	[35.0]	[34.7]	[35.3]	[61.3]	[78.1]	[44.2]	[2.2]	[0.0]	[4.4]	[6.6]		[13.3]	[17.5]	[17.4]	[17.7]
	年齢調整死亡率	5.7	10.2	2.3	13.2	18.2	8.2	26.0	38.8	15.7	1.0	0.0	1.9	5.2		10.5	11.2	12.6	9.4
木曾岬町	死亡数	1	0	1	1	1	0	6	6	0	1	0	1	0		0	0	0	0
	率	[14.6]	[0.0]	[29.2]	[14.6]	[29.2]	[0.0]	[87.5]	[174.9]	[0.0]	[14.6]	[0.0]	[29.2]	[0.0]		[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	6.2	0.0	9.7	7.3	14.6	0.0	42.1	89.5	0.0	3.3	0.0	4.3	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
東員町	死亡数	2	0	2	6	3	3	19	15	4	0	0	0	0		0	2	2	0
	率	[7.8]	[0.0]	[15.2]	[23.4]	[24.0]	[22.8]	[74.0]	[119.8]	[30.4]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]		[0.0]	[7.8]	[16.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	2.6	0.0	4.0	18.0	13.7	21.5	37.6	68.9	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	3.7	8.0	0.0
菰野町	死亡数	2	1	1	7	3	4	25	19	6	7	0	7	0		0	3	1	2
	率	[5.0]	[5.1]	[4.9]	[17.5]	[15.4]	[19.5]	[62.5]	[97.8]	[29.2]	[17.5]	[0.0]	[34.1]	[0.0]		[0.0]	[7.5]	[5.1]	[9.7]
	年齢調整死亡率	1.7	2.7	0.7	9.4	11.3	6.5	30.2	55.1	11.1	10.6	0.0	20.0	0.0		0.0	2.9	2.3	3.5
朝日町	死亡数	0	0	0	2	1	1	8	7	1	1	0	1	0		0	4	3	1
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[20.8]	[20.8]	[20.7]	[83.1]	[145.7]	[20.7]	[10.4]	[0.0]	[20.7]	[0.0]		[0.0]	[41.6]	[62.4]	[20.7]
	年齢調整死亡率	0.0	0.0	0.0	12.7	14.5	13.2	51.1	94.4	10.5	6.6	0.0	13.2	0.0		0.0	31.5	58.3	4.6
川越町	死亡数	2	2	0	1	1	0	8	8	0	2	0	2	1		1	1	1	0
	率	[14.3]	[28.2]	[0.0]	[7.1]	[14.1]	[0.0]	[57.1]	[112.7]	[0.0]	[14.3]	[0.0]	[29.0]	[7.1]		[14.5]	[7.1]	[14.1]	[0.0]
	年齢調整死亡率	7.4	20.2	0.0	5.53	10.38	0.00	33.6	77.1	0.0	13.52	0.00	28.55	5.66		12.58	6.14	11.71	0.00

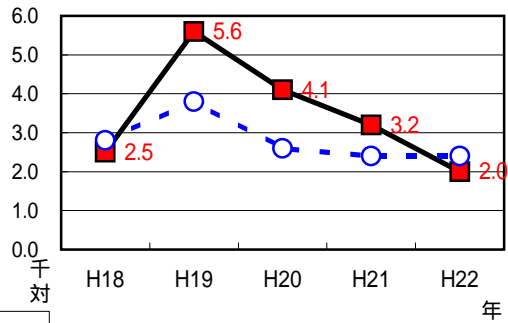
グラフ1

平成20年からは、桑名管内に菟野町、川越町、朝日町が含まれます。

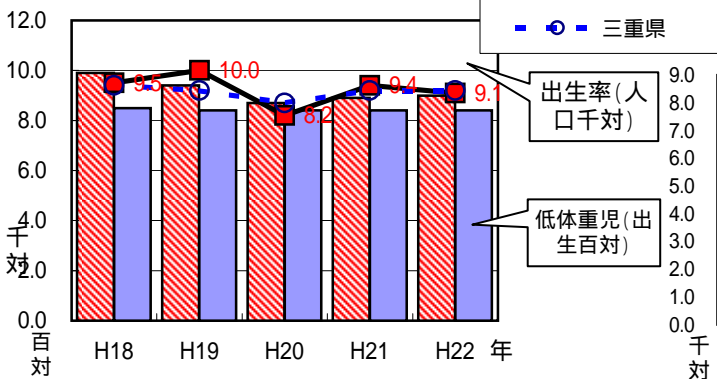
合計特殊出生率の推移



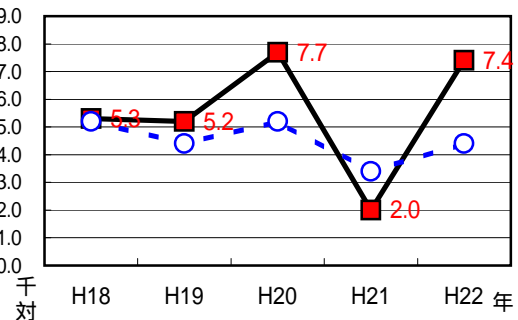
乳児死亡率の推移



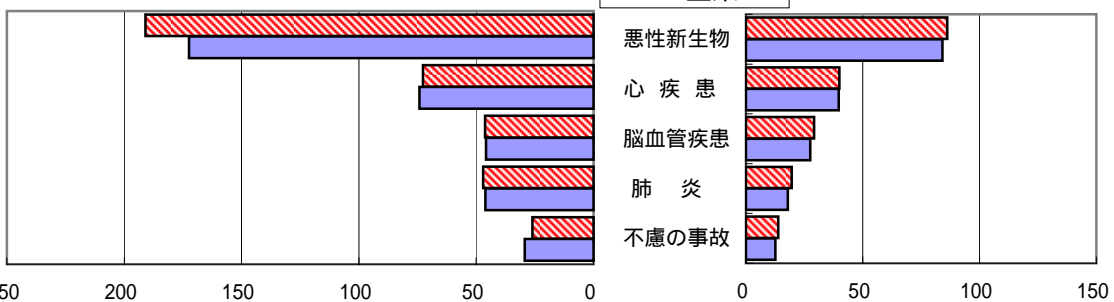
出生率・低体重児出生率の推移



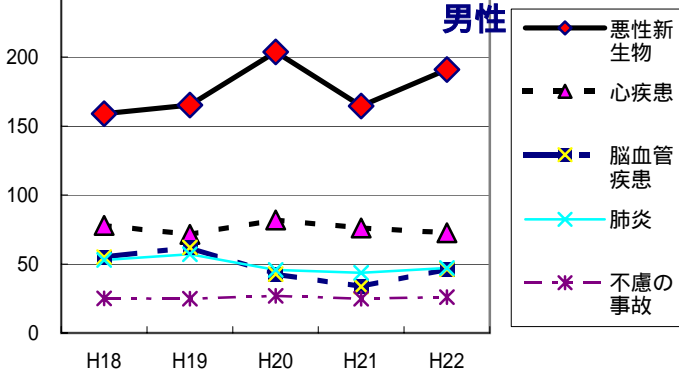
周産期死亡率の推移 (出産千対)



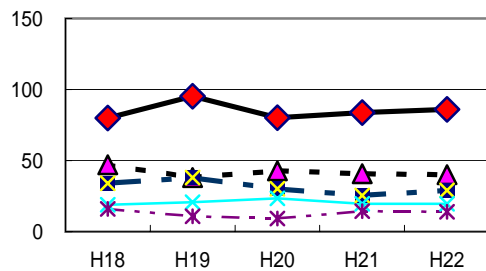
年齢調整死亡率 (平成22年)



年齢調整死亡率の年次推移



女性



2 三重県民力ビジョン

三重県民力ビジョン・行動計画における事業実績

1 三重県民力ビジョン・行動計画における事業実績

桑名保健福祉事務所（桑名保健所及び北勢福祉事務所）各課における事業実績を、「三重県民力ビジョン・行動計画」による「政策 - 施策 - 基本事業」の順に並び替えました。

従って、「三重県民力ビジョン・行動計画」のうち保健福祉事務所業務に関係しない部分は省略してあります。また、同じ基本事業で複数の課で担当している事業もあります。

2 三重県民力ビジョン・行動計画の政策体系

(政策展開の基本方向<三つの柱>)

第1節 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

(政策)

(施策)

1 危機管理 ～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～

111 防災・減災対策の推進(基本事業11105) ...17

112 治山・治水・海岸保全の推進

113 食の安全・安心の確保(基本事業11301) ...18

114 感染症の予防と体制の整備(基本事業11402、11403) ...22

2 命を守る ～健康な暮らしと安心できる医療体制～

121 医師確保と医療体制の整備(基本事業12101～12103) ...29

122 がん対策の推進

123 こころと身体の健康対策の推進(基本事業12301～12303) ...34

3 暮らしを守る ～誰もが安全で安心して暮らせる地域社会～

131 犯罪に強いまちづくり

132 交通安全のまちづくり

133 消費生活の安全の確保

134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保(基本事業13401～13404) ...48

4 共生の福祉社会 ～地域の中で誰もが共に支え合う社会～

141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実(基本事業14101、14102) ...54

142 障がい者の自立と共生(基本事業14201、14202、14204、14205) ...57

143 支え合いの福祉社会づくり(基本事業14301、14305) ...65

5 環境を守る持続可能な社会 ～自然を大切にし、環境への負荷が少ない社会～ (施策については省略)

第2節 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

1 人権の尊重と多様性を認め合う社会 ～一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会～

211 人権が尊重される社会づくり

212 男女共同参画の社会づくり(基本事業21204) ...69

213 多文化共生社会づくり

214 NPOの参画による「協創」の社会づくり

2 教育の充実 ～一人ひとりの個性と能力を育む教育～ (施策については省略)

3 子どもの育ちと子育て ～子どもが豊かに育つことができる社会～

231 子どもの育ちを支える家庭・地域づくり

232 子育て支援策の推進(基本事業23201～23203) ...71

233 児童虐待の防止と社会的養護の推進

4 スポーツの推進 ～夢と感動を育む社会～ (施策については省略)

5 地域との連携 ～誰もが魅力を感じ、活力のある地域～ (施策については省略)

6 文化と学び ～地域の誇りと心の豊かさを育む社会～ (施策については省略)

第3節 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

1 農林水産業 ～食や暮らしと地域経済を支える農林水産業～ (施策については省略)

2 強じんて多様な産業 ～地域に活力と雇用を生み出す産業構造への転換～ (施策については省略)

3 雇用の確保 ～誰もが働ける社会～ (施策については省略)

4 世界に開かれた三重 ～観光産業の振興と国際戦略の展開～ (施策については省略)

5 安心と活力を生み出す基盤 ～県民の生活や経済活動を支える基盤の整備～ (施策については省略)

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策1 危機管理 ～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～

施策111 防災・減災対策の推進

基本事業11105 災害医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1. 災害拠点病院・薬局との連携を図ります。

1 災害拠点病院

災害拠点病院とは、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度診療、被災地からの重症患者の受入れ及び広域搬送への対応、医療救護班の派遣、地域の医療機関への応急用資材の貸し出しを担う病院として、三重県知事が指定している病院です。

(1) 桑名管内災害拠点病院

名称	郵便番号	住所	電話番号	指定日
三重県厚生農業協同組合連合会 いなべ総合病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜771	0594 (72) 2000	平成19年12月26日



http://www.miekosei.or.jp/4_ish/

いなべ総合病院ホームページより

2 地域災害拠点薬局

地域災害拠点薬局を指定することにより、大規模災害発生時に必要な医薬品等の確保及び供給を図る。

(1) 桑名地域災害拠点薬局

名称	郵便番号	住所	電話番号	指定日
モリワキ薬局	511-0233	員弁郡東員町城山3-21-10	0594- 76-7898	平成18年4月1日

(2) 四日市地域災害拠点薬局

名称	郵便番号	住所	電話番号	指定日
医薬分業推進支援センター	510-0093	四日市市本町9-8	059- 354-8440	平成18年4月1日

施策113 食の安全・安心の確保
基本事業11301 食品の安全・安心の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
2. 食品表示の適正化を図るため監視指導を進めます。

1 食品衛生

今年度は、ユッケ（生食用食肉）を原因とした腸管出血性大腸菌食中毒事件の発生、東日本大震災の影響で発生した原子力発電所事故による食品の放射性物質汚染問題で消費者の食品に対する不安が高まっていることから、飲食に起因する衛生上の危害を未然に防止し、管内で流通する食品の安全・安心を確保するため、食品営業施設の夏期・年末年始の一斉監視、学校等の給食施設、製造業施設等の監視を実施するとともに、食肉取扱施設に対し、生食用食肉取扱い実態調査や重点的に施設監視を実施した。また、各施設の食品衛生責任者等に対する食品衛生講習会、その他専門業種・大規模施設従事者に対する衛生講習会を開催することにより、食品衛生思想の普及向上に努めた。

さらに、「食品の規格基準」や「三重県食品の衛生管理指標」に基づく収去検査や違反食品の調査等を実施し、違反食品を発見した場合は、販売者及び製造者に対し、原因の追及を行い、違反食品の排除に努めた。

(1) 食品関係施設数及び監視状況

ア 許可を要する施設

業種	施設数	新規	更新	廃業	監視数
飲食店営業	2,465	425	283	450	950
菓子(パンを含む)製造業	409	37	49	36	157
乳処理業	2	0	0	0	2
乳製品製造業	4	0	1	0	6
魚介類販売業	297	22	44	30	133
魚介類せり売営業	1	0	1	0	0
魚肉ねり製品製造業	8	1	1	0	3
食品の冷凍又は冷蔵業	18	2	3	0	18
かん詰びん詰食品製造業	6	0	2	0	4
喫茶店営業	902	121	166	81	134
あん類製造業	2	0	1	0	1
アイスクリーム類製造業	100	6	25	8	32
乳類販売業	412	31	93	40	138
食肉処理業	11	0	2	0	17
食肉販売業	297	23	49	22	211
食肉製品製造業	2	0	0	0	5
食用油脂製造業	1	0	0	0	0
みそ製造業	17	0	5	0	4
醤油製造業	6	0	5	0	4
ソース類製造業	4	0	2	0	5
酒類製造業	7	0	1	0	2
豆腐製造業	11	1	4	2	3
納豆製造業	2	0	0	0	4
めん類製造業	23	1	1	0	6
そうざい製造業	49	1	10	4	17
添加物製造業	3	0	1	0	0
清涼飲料水製造業	13	0	2	0	9
氷雪製造業	1	0	0	0	0
氷雪販売業	2	0	1	2	1
総数	5,075	671	752	675	1,866

イ 許可を要しない届出施設

業 種		施設数	監視数
許可を要しない食品若しくは 添加物の製造・販売業		317	503
器具・容器若しくはおもちゃの製造業		0	0
給 食 施 設	学校	59	7
	病院・診療所	40	13
	事業所	35	1
	その他	151	25
計		602	549

(2) 食品衛生月間における啓発活動

ア 日程

- 8月1日(月) 9:30～ ピアゴ多度店
- 8月1日(月) 13:30～ アピタ桑名店
- 8月2日(火) 14:00～ マックスバリュサンリバー店
- 8月4日(木) 9:30～ イオン大安店
- 8月5日(金) 10:00～ Aコープ長島店

イ 内容

各地区食品衛生指導員と協働で、リーフレット、うちわ等の配布による街頭啓発活動

(3) 食中毒事故発生件数

1件

(4) 食肉取扱施設監視状況

区分	施設数	監視数
食肉処理業	6	6
食肉販売業	81	96
飲食店営業 (焼肉店等食肉取扱い施設)	141	212
合計	228	314

(4) 食品等の収去検査実施状況

ア 食品等の収去及び拭き取り検査結果

検査結果 収去検体	収去検体数	不良検体数	不良理由 (延数)		
			細菌	化学	その他
魚介類	0	0	0	0	0
魚介類加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	11	0	0	0	0
肉卵類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	30	0	0	0	0
牛乳及び乳製品	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	0	0	0	0	0
野菜類・果物及びその 加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	15	0	0	0	0
菓子類	31	5	5	0	0
酒精飲料	0	0	0	0	0
その他の食品	125	4	4	0	0
小計	212	9	9	0	0
保存食	0	0	0	0	0
器具等の拭き取り	46	0	0	0	0
合計	258	9	9	0	0

イ 放射性物質汚染疑い食品収去検査

検体数	暫定基準値超過検体数
1	0

(5) 免許取得状況

四日市市保健所受付分含む

区分	受験申込者数 (人)	合格者数 (人)
調理師 試験	183	123
製菓衛生師 試験	110	74

(6) 自主衛生管理の促進

今年度から始まった「三重県食品の自主衛生管理認定制度」を管内事業者にも周知し、制度参加の啓発をおこない、事業者の自主衛生管理を促進した。

管内取組み施設数 6施設

(7) 食品衛生講習会

管内食品関係事業者や消費者等に対して、食中毒防止啓発等を目的とした食品衛生講習会を実施した。

実施回数	参加者数
44回	1,537人

2 食品表示等指導相談事業

食品の不適正表示(表示事項の欠落等)を減少させるため、計画的に、販売業者等に対して、「みえの食品安全・安心表示ガイドライン」の周知を行うとともに、食品衛生法、JAS法等に基づく食品表示の監視指導を行った。

食品表示ウォッチャーのモニター報告により表示違反が疑われる場合や、消費者からの通報があった場合には、調査指導を行った。

(1) 製造・販売・流通段階における表示の監視指導実施状況

監視指導対象	監視店舗数
販売業者(桑名)	111
販売業者(四日市市)	2
公設市場(北勢市場)	57
計	170

(2) 表示通報・指導

スーパー				その他			
食衛法		JAS法		食衛法		JAS法	
通報件数	指導件数	通報件数	指導件数	通報件数	指導件数	通報件数	指導件数
0	1	2	11	6	12	6	38

(3) 表示相談

実件数	延べ件数	内 訳		
		食衛法	JAS法	その他
100	254	37	76	20

(4) 食品表示に関する講習会実施状況

対象	回数	受講者数
食品事業者	2	40

施策114 感染症の予防と体制の整備
基本事業11402 感染症危機管理体制の整備
(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者や家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

1 感染症の予防事業

感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。

(1) 感染症発生状況 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

- 一類感染症発生状況 0件
- 二類感染症発生状況(結核を除く) 0件
- 三類感染症発生状況 3件
- 四類感染症発生状況 4件(A型肝炎 1件 レジオネラ症 2件 つつが虫病 1件)
- 五類感染症発生状況 4件

(アメーバ赤痢 1件 如伊ツェルト・ヤコフ病 1件 パンソマイン耐性腸球菌感染症 1件 風疹 1件)

(2) 三類感染症発生状況の推移 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

種別年度	三類感染症				
	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症(保菌者含む)
H19	-	-	1	-	4
H20	-	-	-	-	5
H21	-	-	-	-	4
H22	-	-	-	-	15
H23	-	-	-	-	3

(3) 行政検査実施状況 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

		医療機関からの依頼	家族及び接触者	菌陰性化検査	計
実検体数		-	4(3)	5(1)	9(4)
三類	コレラ	-	-	-	-
	細菌性赤痢	-	-	-	-
	腸チフス	-	-	-	-
	パラチフス	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	-	4(3)	5(1)	9(4)

()内は陽性者数を再掲(内数)

(4) 病原体検査実施状況 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

インフルエンザ	麻しん	計
5	4	9

基本事業11403 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査をします。
2. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策促進事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ地域特別対策事業

「世界エイズデー」街頭キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成23年12月1日 7:40～8:20	桑名駅東 口ロータ リー周辺	保健所職 員 4名	啓発ティッシュ800個と WYSH予防サイトカード200枚配布

エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成24年2月13日 14:00～16:00 くわなメディアライブ 多目的ホール	保護者及 び学校・ 医療・行 政関係者	85名	講演「性を子どもにどう伝えるか ～現場の産婦人科医からのメッセージ ～」 講師 いなべ総合病院 産婦人科部長 川村 真奈美氏

(2) エイズ相談・検査実施日時(平成23年度)

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

HIV抗体検査、電話相談者数

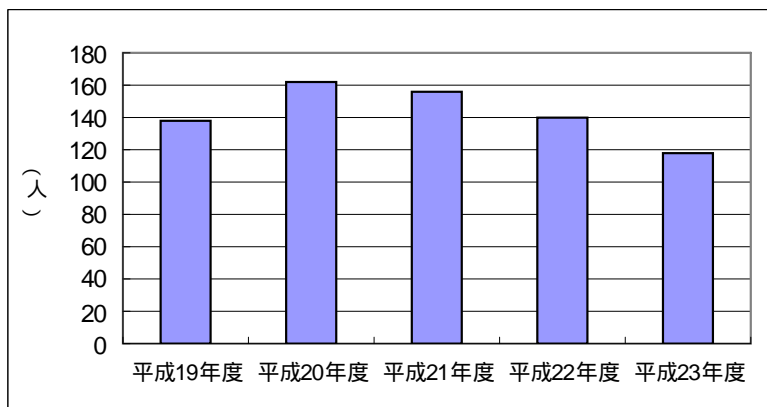
	男	女	計
電話による相談件数	12	2	14
HIV抗体検査件数	85	33	118

HIV抗体検査件数の推移

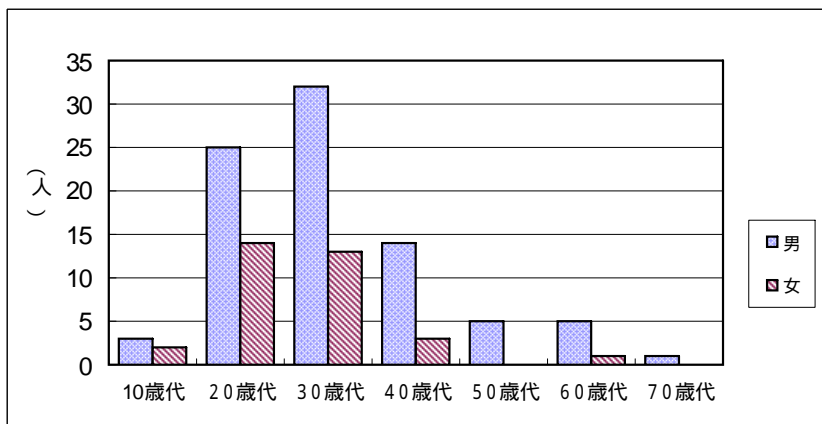
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
検査件数	138	162	156	140	118



(レッドリボン)



H I V抗体検査年代別件数



(3) 特定感染症検査件数

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づき、梅毒、B型・C型肝炎検査を希望の方に対し、相談や検査を実施した。

	男	女	計
梅毒	81	31	112
B型肝炎	81	34	115
C型肝炎	82	34	116

(4) 感染症に関する予防啓発

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成23年11月27日 10:00～12:00 東員町笹尾東4丁目 集会所	はぎ遊話 会	27名	「注意すべき感染症と予防について」 桑名保健福祉事務所 健康増進課 保健師
平成24年2月21日 14:00～15:30 菰野高等学校	学校医・学校薬剤 師・PTA代表・教頭・ 保健主事・養護教諭		「学校での主な感染症とその予防対策について」 桑名保健福祉事務所 健康増進課 保健師

(5) 緊急肝炎ウイルス医療機関委託検査事業

	男	女	計
B型肝炎	5	7	12
C型肝炎	5	7	12

2 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

3 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成23年1月1日～平成23年12月31日

病型別 年齢区分	計		活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症			
			肺結核活動性									肺外結核						
			喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性			菌陰性・その他			活動性						
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計	49	30	19	17	11	6	13	9	4	5	4	1	14	6	8	17	7	10
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
20～29	3	2	1	1	1	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	1
30～39	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	2	3
40～49	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	4
50～59	7	4	3	1	1	-	1	1	-	2	1	1	3	1	2	2	1	1
60～69	5	4	1	3	2	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	3	2	1
70～	32	20	12	11	7	4	10	7	3	2	2	-	9	4	5	-	-	-

イ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成23年12月31日現在

病型別 区分	計		活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明
			肺結核活動性						
			計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
計	88	27	13	10	4	12	45	4	
入院中	8	8	8	-	-	-	-	-	
外来治療中	31	19	5	10	4	12	-	-	
治療なし	49	-	-	-	-	-	45	4	
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成23年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性	活動性結核の有病率				
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		22年			23年	
管内計	88	13	10	4	12	45	4	10.6	13.8	
桑名市	55	9	8	2	7	27	2	11.4	18.5	
いなべ市	8	-	1	2	1	3	1	13.1	8.8	
木曽岬町	2	-	-	-	1	1	-	-	14.6	
東員町	9	1	1	-	1	5	1	15.6	11.7	
菰野町	9	3	-	-	1	5	-	5.0	10.0	
朝日町	1	-	-	-	-	1	-	-	-	
川越町	4	-	-	-	1	3	-	14.3	7.1	

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成23年1月1日～平成23年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲) 潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	49	35	17	13	5	14	17.4	17
桑名市	32	25	11	11	3	7	22.8	10
いなべ市	3	2	-	1	1	1	6.6	2
木曽岬町	2	1	1	-	-	1	29.2	-
東員町	5	3	1	1	1	2	19.5	1
菰野町	6	4	4	-	-	2	15.0	3
朝日町	-	-	-	-	-	-	-	1
川越町	1	-	-	-	-	1	7.1	-

(2) 結核検診実施状況

平成23年度

項目 対象別	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	QFT検査	結核患者発見者数
	対象者数	ツ反心検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数			
定期	計	2,452	-	-	2,362	67,550	20,939	5	-
	事業者	-	-	-	-	7,931	7,903	-	-
	学校長	-	-	-	-	2,207	2,202	-	-
	施設の長	-	-	-	-	674	672	3	-
	市町長	2,452	-	-	2,362	56,738	10,162	2	-
定期外	計	/	13	-	-	/	165	-	126
	接触者	/	9	-	-	/	101	-	81
	患者家族	/	4	-	-	/	52	-	45
	患者管理	/	-	-	-	/	12	-	-

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成23年度

市町別	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影				結核 患者 数 (G)	(G)/ (D) %
					受診人員			(D)/(A) %		
					間接撮影数	直接撮影数	計(D)			
計	56,738	2,452	2,362	96.3%	9,279	937	10,216	18.0%	-	-
桑名市	30,140	1,237	1,176	95.1%	3,061	217	3,278	10.9%	-	-
いなべ市	8,501	358	345	96.4%	2,443	170	2,613	30.7%	-	-
木曽岬町	1,118	37	37	100.0%	258	106	364	32.6%	-	-
東員町	5,093	159	159	100.0%	1,326	444	1,770	34.8%	-	-
菰野町	8,957	352	345	98.0%	1,840	-	1,840	20.5%	-	-
朝日町	1,479	135	130	96.3%	297	-	297	20.1%	-	-
川越町	1,450	174	170	97.7%	54	-	54	3.7%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成23年中

区分	申請別	計	新規申請	継続申請	解除
申請件数	54	20	34	13	
承認件数	54	20	34	13	

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く) 平成23年中

区分	保険別	計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
			本人	家族				
申請件数	57	19	5	12	20	1	-	
承認件数	57	19	5	12	20	1	-	

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成24年4月1日現在

氏名	役職名
北川 良子	桑名西医療センター 内科
笠井 寛司	笠井内科 院長
菅原 望	いなべ総合病院 内科
郡 なな子	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
山口 順	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日 午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

結核治療における服薬確認療法(DOTS)に取り組むにあたり、支援を行う機関・支援者を広げていくことを目指す。また、服薬確認療法が必要な患者に対し、療養や服薬への不安を減らし、服薬を完遂できるよう支援する。

イ 事業内容

- 1) 桑名保健所管内の調剤薬局を対象とし、服薬確認療法（DOTS）に関する調査を実施。

調査目的：現時点での結核患者への服薬支援の状況の把握、服薬確認療法（DOTS）の啓発につなげる。

調査対象：桑名保健所管内調剤薬局

調査票回収結果：調査対象 113 薬局中 94 薬局より調査票回収

- 2) 「結核患者服薬支援（DOTS）」

医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市社会保険病院】 12回

日時：定例実施 毎月第1月曜日 午後3時～

場所：四日市社会保険病院

参加者：四日市社会保険病院 結核担当看護師 外来看護師

桑名・鈴鹿・四日市市保健所結核担当保健師

対象者：四日市社会保険病院に結核にて入院中及び退院後の患者

検討実人数 16名（延べ35名）

地域DOTS報告実人数 12名（延べ64名）

地域DOTS終了報告人数 3名

【三重中央医療センター】 1回

日時：新規患者入院時実施 平成23年5月19日（木） 午後4時～

場所：三重中央医療センター

参加者：三重中央医療センター 結核病棟看護師長、担当看護師、薬剤師、ケースワーカー

桑名・津・伊賀・松阪保健所結核担当保健師

対象者：三重中央医療センターに結核にて入院中の患者

検討実人数 1名（延べ1名）

地域DOTS報告人数 1名（延べ1名）

D O T S 支援

1) 新規登録患者の内、訪問あるいは所内面接を実施した者 64名

2) 登録患者で訪問および所内面接DOTS支援の実施

継続訪問あるいは所内面接を実施した者 16名（延べ55回）

3) 連絡確認DOTS支援 対象者 : 16名（延べ75回）

ウ 成果

調剤薬局対象の調査（回答薬局数94）では、DOTSについて知っている薬局は23.4%、DOTS支援のための服薬手帳について知っている薬局は2.1%と、抗結核薬を調剤したことのある薬局45.7%に比して低い率であることがわかった。

一方で抗結核薬を服用する患者への地域DOTSへの協力をしてもよいとの回答が70箇所（74.5%）の薬局から得られ、また「服薬確認は治療上最も重要だと思いますので、ぜひ協力させていただきます。」「治療効果が上がるので、もっと推進してよいと思う」など今後の取り組みへの積極的な意見が得られた。

このことを踏まえ、今後必要な対応として薬剤師会の勉強会などさまざまな機会を活用し説明することで、結核対策や服薬手帳と薬殻確認といったDOTSの理解を深め、支援者を広げていく必要性が把握できた。

D O T S 支援については、入院時から本人に面接を行うことで信頼関係を築くことができ、また、定期的にDOTSカンファレンスを開催することにより、医療機関と保健所間の連携強化が図られた。

エ 今後の課題と24年度の計画

1) 結核に関する知識の普及と地域DOTS支援に関する理解を深めるため、管内薬剤師会に働きかけ、研修会等を行うことにより、結核対策の強化を図る。

2) 医療機関と地域との連携のもと、DOTSを推進し服薬支援体制を整備する。

3) 老人（高齢者）福祉施設職員や社会福祉協議会等で働く職員に対し、正しい結核知識の啓発を行うことにより結核患者を早期発見し、施設内集団感染を未然に防ぐとともにDOTS支援への理解を得る。

施策121 医師確保と医療体制の整備
基本事業12101 医療分野の人材確保
(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1. 保健師は、管内市、産業保健保健師等関係者と連携をとりながら、地域住民の心身の健康保持、増進、健康の回復、疾病予防を目的とし、家庭訪問、健康相談、集団検診、健康教育等を実施しています。
2. 看護業務・医療業務・栄養業務等に従事しようとする学生に対して保健福祉事務所(保健所)実習指導を実施します。
3. 平成16年度から実施された新医師臨床研修制度に基づき、研修2年目の医師に対して地域保健分野として保健福祉事務所(保健所)研修を実施します。

1 保健師活動状況

(1) 保健師配置状況

平成24年4月1日現在

	管内合計	保健福祉事務所	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
H18	67	7	18	13	6	5	10	3	5
H19	67	8	18	13	6	5	9	3	5
H20	69	9	19	14	6	4	9	3	5
H21	70	9	21	14	5	5	9	3	4
H22	73	9	23	14	4	6	9	3	5
H23	73	9	22	14	4	6	9	4	5
H24	73	9	23	13	4	6	9	4	5

2 看護学生等保健所実習指導

平成23年度

	所属名	実習期間(日)	人員(名)
看護学生	三重県立看護大学看護学部看護学科	9	3
	三重大学医学部看護学科	9	6
	四日市看護医療大学	7	6
管理栄養士	名古屋学芸大学	5	2
	東海学園大学	5	1
	椋山女学園大学	5	2
	鈴鹿医療科学大学	5	5

3 医師臨床研修受入状況

平成16年度から診療に従事しようとする医師は、医師免許取得後、2年間の臨床研修受講を義務づけられています。(医師法第16条の2)

この制度においては、「特定の医療現場の経験」として「地域保健」が選択科目に指定されており、保健所等がその対象機関とされています。

平成23年度

所属病院名	研修医数	受入標準期間	延べ受入日数	備考
桑名市民病院	1	2週間	10日間	
山本総合病院	1	2週間	10日間	

基本事業12102 救急・へき地等の医療の確保

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
2. 医療機能分化推進のため地域住民に対する啓発事業等を行います。
3. 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

(1) 救急医療対策協議会(メディカルコントロール協議会)

	開催日	開催場所	出席数	主な協議内容
第1回	平成24年3月15日	衛生教育室	14名	1. 桑員地域メディカルコントロール作業検討会報告及び承認等 2. 桑員地域感染症危機管理ネットワーク会議報告 3. 桑員地域災害医療対策部会報告 4. 各所属からの報告 1) 応急診療所利用状況(桑名市) 2) 救急概要(桑名市消防本部) 3) 交通事故発生状況報告(桑名警察署・いなべ警察署)

(2) 感染症危機管理ネットワーク会議

	開催日	開催場所	出席数	主な内容
第1回	平成23年9月22日	衛生教育室	13名	・昨年度発生の鳥インフルエンザについて ・感染症(HIV/AIDS)における現状について ・これまで医療機関より、問い合わせのあった事例について ・意見交換

2 医療機能分化推進・啓発事業

(1) 桑名地域

全体テーマ：地域医療講演会「在宅医療～ケアの連携体制の構築をめざして」

- 1) 講演会内容 市民・医療従事者・行政関係者に対する地域医療等にかかる普及啓発
- 2) 参加者数 市民・医療従事者・行政関係者 88名
- 3) 開催日時 平成24年2月25日(土) 13:30から15:30
- 4) 開催場所 桑名市民会館(小ホール)
- 5) 地域医療講演会

講師：小鳥 輝男(滋賀県医師会副会長)

演題：『東近江地域連携クリティカルパス「三方よし研究会」の歴史と今後の展望～特に在宅医療、ケアに向けて～』



6) 桑名市在宅医療及びケア研究会の取組報告

報告者：柳川智子（桑名市在宅医療及びケア研究会運営委員会会長）

7) 周知リーフレット作成数 1,000枚

8) 共催者 桑名市



3 救急告示医療機関

救急告示医療機関は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定しています。

(1) 管内救急告示病院・診療所

(平成24年3月31日現在)

名称	郵便番号	住所	電話番号
桑名西医療センター	511-0819	桑名市北別所416-1	0594-22-7111
桑名東医療センター	511-0061	桑名市寿町3丁目11	0594-22-1211
医療法人桑名病院	511-0063	桑名市京橋町30	0594-22-0460
桑名南医療センター	511-0068	桑名市中央町1丁目32番地1	0594-22-0650
ヨナハ総合病院	511-0838	桑名市和泉8丁目264-3	0594-23-2415
医療法人(社団)大和会 日下病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜680	0594-72-2511
青木記念病院	511-0068	桑名市中央町5丁目7	0594-22-1711
医療法人誠会 山崎病院	511-0836	桑名市江場1365	0594-22-0983
森栄病院	511-0038	桑名市内堀28番地1	0594-23-0452
いなべ総合病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜77-1	0594-72-2000
菰野厚生病院	510-1234	三重郡菰野町大字福村75	059-393-1212
四日市消化器病センター	510-1232	三重郡菰野町宿野神明田432	059-393-2300
青木内科	511-0863	桑名市新西方2丁目82	0594-22-1111
大桑クリニック	511-0101	桑名市多度町柚井字境川132	0594-48-5311
小畑整形外科	510-8122	三重郡川越町豊田432	059-365-0765

基本事業12103 医療の質の向上

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域医療提供体制の整備を図るため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供するかかりつけ医の推進を図ります。

1 医務

管内における医療施設及び医療関係者の状況は次のとおりです。

医療法等関係法令に基づき、管内医療機関等の開設、変更・廃止等の事務手続きを行い、必要に応じて立入検査を実施し、構造設備等法令基準の適合について指導を行った。

(1) 市町別医療関係施設数

平成24年3月31日現在

区分 市町名	病院		一般診療所		歯科 診療所	助産所 (無床)	施術所	歯科技 工所
	一般	精神	有床	無床				
管内 計	15	4	14	159	112	6	208	38
桑名市	9	1	10	84	62	2	107	21
いなべ市	3	1	-	25	18	2	33	10
木曽岬町	-	-	1	2	2	-	5	-
東員町	-	2	-	14	9	-	17	4
菰野町	3	-	-	22	12	1	33	3
朝日町	-	-	-	8	3	-	10	-
川越町	-	-	3	5	6	1	4	-

(2) 病床数(病院、診療所)

平成24年3月31日現在

	病 院						一般診療 所病床 (療養病床再掲)	率(人口10万対)	
	総数	精神病床	感染症 床	結核病 床	一般病床	療養病床		病院	一般診 療所
管内	2,907	899	0	0	1,311	697	(47) 203	1,027.6	71.8
桑名市	1,520	236	-	-	794	490	(35) 160	1,081.1	113.8
いなべ市	603	174	-	-	326	103	-	1,319.2	-
木曽岬町	0	-	-	-	-	-	1	0.0	14.6
東員町	489	489	-	-	-	-	-	1,907.8	-
菰野町	295	-	-	-	191	104	-	736.1	-
朝日町	0	-	-	-	-	-	-	0.0	-
川越町	0	-	-	-	-	-	(12) 42	0.0	295.6
三重県	19,945	4,804	20	54	11,500	4,218	1,633	1,079.2	88.4

(3) 医療関係者数

平成22年12月31日現在

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
管内	384	139	454	95	45	1,688	863	202	67
桑名市	215	79	271	40	27	876	441	105	39
いなべ市	73	19	92	17	12	361	150	23	12
木曽岬町	4	2	3	4	0	16	9	3	0
東員町	24	10	30	5	0	134	104	25	4
菰野町	52	18	46	15	3	260	121	34	11
朝日町	7	3	2	7	0	24	12	5	0
川越町	9	8	10	7	3	17	26	7	1

2年ごとに調査されます医師、歯科医師、薬剤師については登録者の届出数（住所地別）、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科技工士、歯科衛生士については就業届出数です。

(4) 医療監視状況

医療法等の関係法令に基づき、桑名保健福祉事務所管内の病院及び診療所（助産所含む）に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行い、適正且つ良質な医療を確保するための指導助言を行いました。

()数は助産所再掲 平成23年度

		全施設数	立入検査実施数	実施率
病院		19	19	100.0%
診療所	医科	(7)	(3)	42.9%
	歯科	178	21	11.8%
	歯科	112	13	11.6%

診療所の立入検査については、5年で一巡するよう20%以上の実施率を目標にしています。全施設数は、平成23年4月1日現在です。また、平成22年度から助産所も実施しています。

施策123 こころと身体の健康対策の推進
基本事業12301 健康づくり活動の推進

(主担当: 保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 生活習慣病予防に向け、健康的な食生活が実践できるよう、「食事バランスガイド」等による啓発、栄養に関する指導者等の人材育成などの食育推進に取り組みます。
2. 給食施設を運営する事業者や「健康づくり応援の店」等と協働して、健康に配慮した食の提供を行うなど、食環境の整備を進めます。
3. 市町栄養士の育成を図るとともに、食に関するボランティアの育成とネットワークづくりを行い、地域に根ざした栄養改善活動を行います。
4. 市町村、企業、学校、NPOならびに医師会等関係団体に対し、健康づくり活動の協働体制を確立するための働きかけを積極的に行います。
5. 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者に対する研修を実施し、支援します。

1 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成にむけて、食事バランスに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取組等をはかり、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。

(1) 給食施設数及び指導状況

健康増進法第22条に基づき、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設の栄養改善指導を実施した。

ア 巡回指導

	特定給食施設	一般給食施設	計
施設数	115	72	187
指導施設数	27	24	51

イ 従事者研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成24年 3月6日	桑名庁舎	45名	講演 「災害時の準備物とライフライン維持の重要性」 事例紹介 山本総合病院、養護老ホーム翠明院の事例 情報交換

(2) 地区組織活動支援状況

地域における食生活改善のボランティアとして活躍している食生活改善推進員の地区組織活動の円滑な運営が行われることを目的に支援を行った。

ア 食生活改善推進員研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成23年 4月15日	朝日町保健福祉センター	朝日町食生活改善推進協議会総会参加者55名	講演 「女性の健康づくりについて」
平成23年 7月7日	桑名庁舎	桑名地区食改リーダー研修会参加者26名	講義 「親子の食育について」 調理実習 「おやこでヘルシークッキング」
平成23年 9月2日	四日市庁舎	四日市食改リーダー研修会参加者40名	講義 「食の安全・安心」 調理実習 「地産物を使った料理」
平成24年 3月1日	桑名庁舎	桑名地区食改リーダー研修会参加者26名	メンタルパートナー養成研修

イ 活動支援 20回

(3) 地域活動栄養士活動支援状況

市町の栄養改善・健康づくりを市町栄養士とともに担っている地域活動栄養士に対し、資質向上のための支援を行った。

ア 研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成23年 4月13日	桑名庁舎	三重県地域活動 栄養士桑名支部 会員 6名	講義 「最近のトピックスについて」 講師 桑名保健福祉事務所 所長 長坂裕二

イ 活動支援 22回

(4) 市町栄養改善支援状況

市町栄養士の資質向上と栄養改善施策の充実を図るために業務検討や情報交換等を行うとともに必要な技術支援を行った。

ア 業務検討会

月 日：平成23年5月16日、7月4日、10月25日、平成24年1月30日、2月6日、3月2日
場 所：第1・4・6回は桑名庁舎 第2・3・5回は三重県保健環境研究所
対 象：管内市町栄養業務担当者 延べ58名

イ 調査研究

管内市町で統一して母子保健に関するテーマで調査研究を実施
調査テーマ：乳幼児に対する家庭でのおやつとの与え方に関する調査
調査対象：管内市町において平成23年5～8月中に3歳半健診を受診した児の保護者約980人（回収率87.1%）
集計・解析については、三重県保健環境研究所の情報専門職養成研修を受講し行った。

(5) 栄養士職域ネットワーク研究会

住民の各ライフステージにおいて、食生活指導や栄養管理を担う管理栄養士及び栄養士の連携と資質の向上を推進し、給食施設の円滑な運営や地域の食生活上の問題を連携して取り組む地域栄養改善を展開することにより、住民の健康増進と生活習慣病予防を図ることを目的に、研究会を実施した。

ア 栄養士職域ネットワーク委員会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成23年 8月31日	桑名庁舎	委員7名	研究会活動・ホームページの検討他

イ ネットワーク研究会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成23年 6月15日	桑名庁舎	46名	活動報告(8職域)・栄養サマリー紹介・情報交換

(6) 野菜フル350推進事業

県民の食生活をみると全ての年代で野菜の摂取が不足している。この不足は栄養バランスの偏りや生活習慣病の視点から課題である。そこで、県民が健康的な食生活が実践できるように野菜摂取を推進した。

ア セミナー

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成23年 9月29日	桑名庁舎	55名	講演 講師 「大地の恵みをおいしくいただく」 (株)げんきの郷 高木 幹夫

イ 普及啓発、健康教育等

日時	事業名(協働先)	内容	対象者
6月15日	栄養士職域ネットワーク研修会	県民健康栄養調査からみる野菜摂取状況	46名
7月7日	桑員地区食生活改善推進連絡協議会リーダー研修会	講義(親子の食育、野菜摂取推進)	26名
10月21日	活動交流会(コープみえ)	野菜摂取啓発	約250名
12月1日	調理師講習会(調理師会)	講義(野菜摂取推進、健康づくり応援の店)	59名
12月7日			27名

(7) モーニング・ベジの推進

健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食において野菜摂取を推進した。

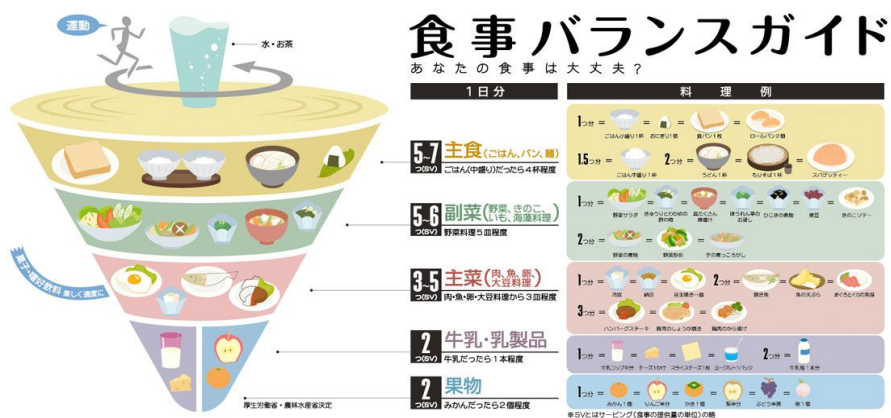
ア 情報発信

ホームページを活用した朝食野菜料理の情報発信 (レシ°数16)

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/eiyounw/UDtop.htm>

イ 啓発

野菜フル350推進事業にあわせて朝食で野菜を摂取することを啓発



2 「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業

生活習慣病の急増する中、地域保健と職域保健が連携し、健康教育、健康相談、健康診査等による一生涯を通じた効果的・効率的な保健事業の展開が求められている。

そこで、桑名地域では、平成17年度から、住民、企業、関係団体、行政等から構成する「『ヘルシーピープルそういん・21』地域・職域連携推進協議会」を設置し、健康なまちづくり及び地域活性化を目標に、地域保健と産業保健の連携による健康づくりのネットワーク構築に取り組んできた。

(1) 地域・職域連携推進協議会

こころと身体 の健康づくりをキーワードに、地域及び職域における健康づくりの取組など互いの健康情報の共有を図るとともに、具体的な連携事業の企画や実施に向けての協議を行った。情報交換や共有化をしていく中でメンバー間の共通認識と情報内容の充実を図るとともにネットワークを構築することができた。

ア 第1回地域・職域連携推進協議会 平成23年9月7日(水)

「ヘルシーピープルそういん・21」の改編について

「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進協議会運営要綱について

三重県の自殺の現状・自殺対策の取り組みについて

協議会の取り組みについて

イ 第2回地域・職域連携推進協議会 平成24年2月29日(水)

各所属の取り組み報告

次年度からの取り組みについて

情報提供

(2) 人材育成研修会の開催

地域や職域において健康づくりに携わる関係者の知識や技術の向上を目的として研修会を開催した。それぞれの職場でのメンタルヘルス対策の実践状況や課題などについて互いに情報交換を行うよい機会となった。

健康管理従事者研修会の開催

開催日時	開催場所	対象	内容
平成23年 10月17日 13:30～16:00	桑名庁舎 第一会議室	協議会委員および企業、関係団体、行政の健康管理(健康づくり)担当者 22名	講演「職場におけるメンタルヘルスケア - セルフケアと管理監督者のケアについて - 」 講師：三重県産業保健推進センター・メンタルヘルス対策支援センター相談員・促進員 林文代氏 情報交換会「職場のメンタルヘルス対策について」

(3) 地域の集まりや事業所への出前講座の実施

これまでに地域および職域が連携して作成した啓発媒体を引き続き活用し出前講座を行った。食生活、運動、口腔ケアの3つの要素でメタボリックシンドロームの予防を中心とした生活習慣病予防の啓発を行った。

事業所などへの出前講座

日時	場所	対象
平成23年10月3日 13:50～14:30	東海コンクリート工業株式会社食堂	東海コンクリート工業株式会社従業員 約90名

(4) 働き盛り世代を対象としたポピュレーションアプローチ

地域で開催される住民を対象としたイベントに参画し、来場者に向けた健康づくり啓発を行った。また、管内企業との連携した取り組みを進めていくため、一部の企業に対し情報収集を行った。

ア イベントへの参加

日時	場所	対象	内容
平成23年 10月21日 10:30～12:30	桑名シティホテル	コープみえ組 合員および一 般約250人	パネル展示(野菜摂取啓発) 野菜フードモデル展示 啓発パンフおよびグッズの配布 (野菜の摂取・こころの健康づく り) 「野菜の摂取に関するアンケート」収集

イ 管内企業への連携アプローチ

給食施設巡回指導に併せ、県で実施するメンタルパートナー養成事業の説明及び協力依頼
巡回施設：4施設

(5) ホームページによる情報発信

平成18年度に開設した「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進協議会ホームページについて、随時情報の更新を行った。

<http://www.pref.mie.lg.jp/WHOKEN/HP/hps21/index.htm>

3 たばこ対策

たばこ対策について普及啓発を行うとともに、関係者が積極的に取り組んでいけるよう支援を行います。

また、地域の実情に応じた受動喫煙防止対策、禁煙支援を実施し、たばこ対策を推進します。

(1) 啓発活動

ア 「世界禁煙デー」「禁煙週間」の啓発

1) 世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施

日時 平成23年5月31日 午前7時30分～8時00分

場所 JR東海桑名駅前ロータリー

内容 ポケットティッシュ 500個 配布

2) 関係機関へ啓発グッズ(ポケットティッシュ)の配布 1000個

配布先 管内医師会、管内薬剤師会、食品衛生関係者、庁舎来庁者 等

(2) 受動喫煙防止対策

ア 「たばこの煙のないお店」認証制度

平成18年6月から県が食品衛生協会に委託を行い、県内全域で実施している「たばこの煙のないお店」認証制度により、飲食店での受動喫煙防止を啓発した。

管内認証店 50店舗(平成24年3月現在)

(3) 禁煙支援

ア ホームページで禁煙治療に保険が使える医療機関情報の公表

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/tabaco/tabakotaisaku.htm>

イ 健康相談・啓発の実施

日時 平成23年11月20日(日)
場所 菰野町保健福祉センター
対象 菰野町健康フェスティバル来場者
内容 禁煙・受動喫煙防止啓発、禁煙相談

ウ 教育機関支援

生徒や学校関係職員に対し、未成年の喫煙防止の健康教育を行った。

- 1) 日時 平成23年7月7日(木)
場所 桑名西高校
対象 桑名西高校の全生徒及び職員 約960名
- 2) 日時 平成24年1月31日(火)
場所 桑名市中央公民館
対象 桑名市、木曾岬町の幼稚園代表者、
小学校・中学校の校長、養護教諭、保健主事等 約50名

エ 事業所支援

事業所の健康管理担当者が禁煙啓発及び指導を行うにあたり、ポスターパンフレット、啓発物を配布し、スモーカーライザーの貸し出しを行った。 事業所 1ヶ所

基本事業12302 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発をおこないます。
2. 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1 こころの健康づくり(自殺予防対策)研修会

目的: 県民の理解と関心を高め、ひいては自殺防止につながることを目指す。

対象: 住民、関係団体職員他

日時	内容	場所	受講者
平成24年 1月21日(土)	講義及び体験学習 「～あしたも元気!! “心とからだのリフレッシュ”～」 講師 こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 先生	桑名市 メディアライヴ 多目的ホール	90名

2 啓発活動事業

(1) 「自殺予防週間」啓発事業

日時	内容	場所
平成23年 9月9日(金)	街頭啓発 自殺予防週間の呼びかけ 啓発グッズの配付、のぼり掲示	JR東海桑名駅前 ロータリー近隣
平成23年 9月9日(金)～ 9月16日(金)	啓発コーナーの設置 自殺予防週間ののぼり、ポスターの開示	保健所ロビー
平成23年 9月9日(金)～ 9月16日(金)	ホームページに「自殺予防週間」の情報掲載	保健所ホーム ページ

(2) 「自殺対策強化月間」啓発事業

日時	内容	場所
平成24年 3月1日(木)	街頭啓発 自殺対策強化月間の呼びかけ 啓発グッズの配付、のぼり掲示	JR東海桑名駅前 ロータリー近隣
平成24年 3月1日(木)～ 3月30日(金)	啓発コーナーの設置 自殺対策強化月間ののぼり、ポスターの開示	保健所ロビー

3 人材育成事業

(1) メンタルパートナー養成事業

目的: 身近な人の自殺・うつのはじめに気づき、相談につなげる人材育成を推進する。

対象: 桑名保健福祉事務所職員、企業職員・桑名地区ヘルスマイト

結果: 桑名保健所実施分 4回実施 105名養成
管内(市町・企業など)で 計660名養成

基本事業12303 生活習慣病・難病対策の推進

(主担当:保健衛生室 総務企画課、地域保健課、衛生指導課、健康増進課)

主な取組内容

- 1 難病患者及び原爆被爆者への医療費助成や福祉サービスの支援を行います。
- 2 難病相談支援センター事業を難病患者団体との協働で進め、生活相談・療養相談等を行うことにより、難病患者とその家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。
- 3 重症難病患者とその家族が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう支援します。
- 4 壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見のため、市町が実施する健康増進事業の運営支援を行います。
- 5 骨髄移植や骨髄バンク制度について普及啓発するとともに、骨髄提供希望者の登録活動を推進します。
- 6 県民の臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行うとともに、三重県角膜・腎臓バンク協会の活動を支援します。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年2回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理に努めた。

(1) 原爆被爆者健康診断実施状況

	第1回(23.5.1～23.5.31)	第2回(23.11.1～23.11.30)
対象者	204	198
受診者数	102	93

(2) がん検診受診者数

(平成23年度)

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	11	26	14	5	42	28

(3) 各種手当受給状況

平成24年3月31日現在

	医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当	葬祭料
支給対象者数	9	1	0	148	8	2	11

葬祭料については、23年度中件数

2 難病在宅ケア事業

事業の目的

難病患者の在宅ケアには、包括的な支援体制が必要である。そのため患者・家族の療養上の不安の軽減を図るとともに、療養者が地域で安心して暮らせるよう、関係機関との連携のもとに在宅ケア支援体制を整備する。

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

個別の状況に応じた適切な支援体制の整備と関係者間の連携を図るため、ケア会議を開催し、在宅療養支援計画の策定・評価を行った。

ケア会議	内 容	出席者	場所
事例 1	「在宅療養生活の支援について」 ・災害時に備えての支援マニュアルの検討 ・各関係者・家族の支援目標の共有 ・今後の方向性の検討	患者、家族、主治医、訪問看護師、理学療法士、介護支援専門員、介護士、医療器具販売員、保健師等 計 11名	患者宅

(2) 訪問相談事業

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病重症患者を中心に訪問等による支援を実施した。

ア 訪問回数：実人員4人、延べ8回

イ 面接・電話相談回数：延べ103回

ウ 三重県難病医療連絡協議会難病医療専門員及び協力病院担当者への連絡回数：
延べ14回

主な支援内容

ア 意志伝達装置の利用支援：実人員2人、訪問延べ3回

イ 人工呼吸器装着特定疾患患者一時入院事業利用支援：実人員1人、相談回数5回

3 特定疾患治療研究事業

難治度、重症度が高く、患者数が比較的小さいため、公費負担の方法をとらないと原因の究明、治療法の開発などに困難をきたすおそれのある疾患について、医療費の自己負担の軽減対策をしています。

特定疾患医療受給者数

平成24年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳							
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菟野町	朝日町	川越町	四日市市
平成23年度		(355) 4,077	(119) 955	(28) 285	(2) 36	(21) 182	(28) 278	(3) 44	(10) 83	(144) 2,214
1	ベーチェット病	(3) 79	13	11	0	2	(1) 9	0	1	(2) 43
2	多発性硬化症	(5) 84	(3) 21	4	1	(1) 8	4	0	2	(1) 44
3	重症筋無力症	(6) 72	(1) 18	3	3	(1) 5	7	0	0	(4) 36
4	全身性エリテマトーデス	(6) 251	(2) 58	(4) 21	2	12	15	2	3	138
5	スモン	(0) 9	1	0	0	0	0	0	0	8
6	再生不良性貧血	(4) 53	(3) 17	5	0	2	4	0	0	(1) 25
7	サルコイドーシス	(11) 98	(1) 15	(1) 7	0	5	(1) 3	1	2	(8) 65
8	筋萎縮性側索硬化症	(5) 54	(3) 12	3	0	(1) 5	(1) 4	0	0	30
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	(14) 313	(7) 55	(1) 15	2	12	29	3	11	(6) 186
10	特発性血小板減少性紫斑病	(14) 162	(3) 33	14	1	(4) 6	8	3	0	(7) 97
11	結節性動脈周囲炎	(3) 49	(1) 17	(1) 3	0	1	2	1	1	(1) 24
12	潰瘍性大腸炎	(73) 787	(28) 209	(5) 51	10	(5) 44	(6) 54	12	(2) 17	(27) 390
13	大動脈炎症候群	(2) 21	5	0	0	1	4	0	0	(2) 11
14	ビュルガー病	(1) 23	5	1	1	0	2	1	0	(1) 13
15	天疱瘡	(1) 23	12	1	0	1	0	0	(1) 1	8
16	脊髄小脳変性症	(8) 104	(2) 24	6	0	6	5	1	(1) 3	(5) 59
17	クローン病	(13) 185	(3) 44	(1) 11	0	(1) 4	(1) 18	(1) 5	2	(6) 101
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	(0) 0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	(0) 25	8	2	0	1	1	0	1	12
20	パーキンソン病関連疾患	(60) 613	(18) 148	(4) 40	(1) 5	(2) 15	(5) 43	2	(2) 19	(28) 341
21	アミロイドーシス	(3) 7	1	0	0	(1) 1	(1) 1	0	0	(1) 4
22	後縦靭帯骨化症	(20) 205	(7) 50	(2) 21	(1) 2	(2) 13	(4) 15	1	4	(4) 99
23	ハンチントン病	(1) 7	3	0	0	1	0	0	0	(1) 3
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	(9) 74	(2) 20	(1) 1	2	5	3	0	0	(6) 43
25	ウェゲナー肉芽腫症	(0) 3	0	0	0	1	0	0	0	2

特定疾患医療受給者数

平成24年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳							
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症		(11) 156	(5) 17	(3) 16		(1) 7	(1) 8			(1) 104
27 多系統萎縮症		(2) 67	(2) 12							
28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)		(0) 2								
29 膿疱性乾癬		(1) 10								(1) 7
30 広範脊柱管狭窄症		(0) 13								
31 原発性胆汁性肝硬変		(5) 120	(3) 28							(2) 70
32 重症急性膵炎		(10) 14	(3) 4	(1) 2						(5) 7
33 特発性大腿骨骨頭壊死症		(1) 47		(1) 2						
34 混合性結合組織病		(2) 40								
35 原発性免疫不全症候群		(0) 3								
36 特発性間質性肺炎		(12) 37	(4) 11	(1) 1						(6) 23
37 網膜色素変性症		(12) 95	(6) 27	(1) 14						(1) 35
38 プリオン病		(1) 2	(1) 1							
39 肺動脈性肺高血圧症		(1) 10								(1) 9
40 神経線維腫症		(0) 9								
41 亜急性硬化性全脳炎		(0) 1								
42 バット・キアリ症候群		(1) 3		(1) 1						
43 慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)		(0) 5								
44 ライソゾーム病(ファブリ病含む)		(1) 9								(1) 8
45 副腎白質ジストロフィー		(0) 1								
46 家族性高コレステロール血症		(0) 0								
47 脊椎性筋萎縮症		(1) 1	(1) 1							
48 球脊髄性筋萎縮症		(1) 2								
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎		(6) 33	(2) 9							(3) 19
50 肥大性心筋症		(0) 3								
51 拘束型心筋症		(0) 0								

疾患別	市町	総数	内 訳							
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
52 ミトコンドリア症		(1) 7	2	1	0	0	1	0	0	(1) 3
53 リンパ脈管筋腫症		(0) 2	0	0	0	0	0	0	0	2
54 重症多形滲出症紅班		(2) 2	0	0	0	0	(1) 1	0	0	(1) 1
55 黄色靱帯骨化症		(5) 11	0	2	0	0	0	0	(1) 1	(4) 8
56 間脳下垂体機能障害		(17) 71	(8) 28	5	0	2	(2) 6	1	(1) 1	(6) 28

〔 () 内の数字は年度内新規申請者数 〕

4 肝炎治療特別促進事業

B型、C型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療にあたり、自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

疾病名	総数	内 訳							
		桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
INF慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)	1	0	0	0	0	1	0	0	0
INF慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)	63	9	15	0	1	5	0	2	31
INF代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3剤慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)	6	1	2	0	0	0	0	0	3
3剤代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N A A 慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)	179	33	5	1	4	25	2	3	106
N A A 代償性肝硬変 (B型肝炎ウイルスによる)	45	10	6	1	4	5	0	0	19
N A A 非代償性肝硬変 (B型肝炎ウイルスによる)	3	0	0	1	0	1	0	0	1
計	297	53	28	3	9	37	2	5	160

5 健康増進事業

(1) 健康増進法に基づき市町が行う健康増進事業実施状況

H23年度

		計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
新規健康手帳 交付数	75歳以上 (人)	662	274	101	0	0	113	50	124
	40～74歳 (人)	5,579	3,363	553	50	0	1,187	250	176
健康教育 指導	個別開始 (人)	4	0	0	0	0	4	0	0
	集団 (回)	970	138	74	18	5	10	28	697
健康相談 開催回数	重点 (回)	199	11	0	8	0	129	32	19
	総合 (回)	652	175	7	21	5	266	108	70
健康診査	受診人員 (人)	79	38	6	1	1	5	2	26
歯周疾患検 診	受診人員 (人)	19	19	0	0	0	0	0	0
骨粗鬆検診	受診人員 (人)	520	77	71	0	180	89	65	38
機能訓 練	実施回数 (回)	118	97	0	21	0	0	0	0
	訓練実施延人員 (人)	443	317	0	126	0	0	0	0
訪問指導延人数 (人)		369	13	2	151	0	15	53	135

地域保健・健康増進事業報告から

6 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンク事業が円滑に実施されるよう骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、ドナー（骨髄提供希望者）の登録受付を実施した。

（1）骨髄提供登録受付窓口業務

毎週火曜日9:30～11:00に登録受付を実施し、平成23年度は18人の登録者がありました。

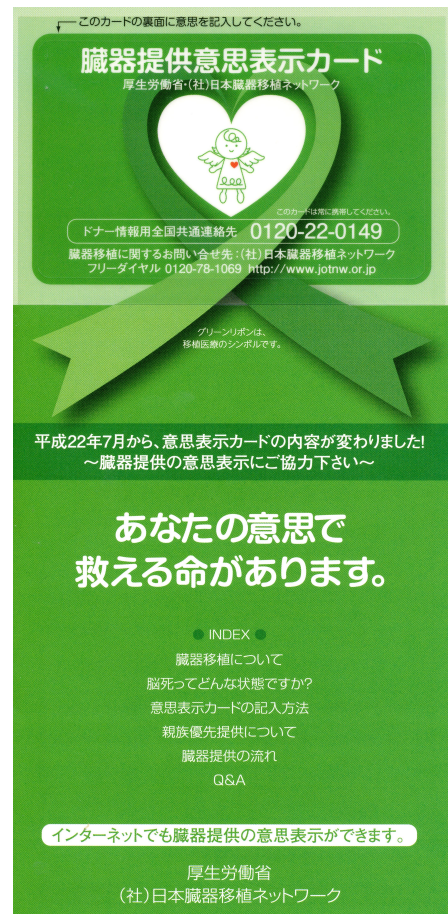
7 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進を図っています。

（1）臓器提供意思表示カード配布窓口業務

桑名保健福祉事務所の窓口において、「いのちの贈りものあなたの意思で救える命」パンフレットと臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行っています。

「いのちの贈りものあなたの意思で救える命パンフレット」「臓器提供意思表示カード」



施策134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保

基本事業13401 薬物乱用防止対策の推進

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 不正な大麻 けしの撲滅に向けた取組を行います。
2. 薬物乱用の未然防止をはかるため、街頭における啓発活動等を実施します。

1 薬物乱用防止対策

地域における薬物乱用防止対策を総合的かつ効果的に推進するため、各関係機関の協力を得て「大麻・けしクリーンアップ事業」、「ダメ。ゼッタイ。普及運動」及び「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」等の啓発運動を実施した。

薬物乱用防止指導員及び薬物乱用防止啓発団体からなる桑名地区薬物乱用防止指導者協議会を中心に、多様な主体との協働による薬物乱用防止対策の実施に向けた取組を行った。

(1) 県民参加による大麻・けしクリーンアップ事業

- ・実施時期：平成23年4月1日～6月30日
- ・管内で約6,100本のけしを除去

(2) 三重県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

- ・日時：平成23年6月23日
- ・場所：JR桑名駅前
- ・内容：啓発物品の配付



(3) 麻薬・覚せい剤乱用防止キャンペーン

- ・日時：平成23年10月16日
- ・場所：いなべ市役所大安庁舎周辺
- ・内容：啓発物品の配付、パネル展示

(4) 薬物乱用防止ポスター展示

- ・日時：平成23年10月27日～11月1日
- ・場所：イオン桑名ショッピングセンター

(5) 小学生等への啓発(薬物乱用防止教室)

- ・日時：平成23年7月から平成24年3月
- ・対象：管内小中高等学校の学生 約2,000名
- ・内容：パワーポイント等を用いた講習を実施。

(6) 桑名地区薬物乱用防止指導者協議会研修会

- ・日時：平成24年3月5日
- ・参加者：桑名地区薬物乱用防止指導者協議会委員等 13名
- ・内容：薬物乱用事犯に関する裁判の傍聴等(於：津地方裁判所四日市支部)

基本事業13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 薬事法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、これらの施設に対する監視指導を実施します。
2. 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

薬事関係法令の規定に基づき、薬局及び医薬品販売業者等への監視指導を行い、医薬品等の品質確保に努めるとともに、毒物劇物営業者及び麻薬取扱者等に対しても適正な取扱指導を行い危害の防止に努めた。

(1) 薬事関係営業施設数及び監視指導状況

業 種		施設数	監視数
薬 局		115	58
医薬品 販売業	卸売(一般)	36	7
	店舗・薬種商・一般	39	18
	特例	4	2
高度管理 医療機器	販売業	67	21
	賃貸業	23	7
管理 医療機器	販売業	796	105
	賃貸業	27	10
毒物劇物	販売業	134	31
	届出	4	2
	製造業	40	24
計		1,285	285

2 献血推進

血液需要の円滑な供給を図るため、街頭ページェントなど献血思想の普及、啓発事業を実施した。

また、高校生による献血ボランティア（ヤングミドナサポーター）を募集し、三重県血液センターの見学会や街頭ページェントの際の来客等への普及啓発活動を一緒に取組むことにより、若年者への献血思想の普及啓発を図った。

(1) 「愛の血液助け合い運動」街頭ページェントの実施

期 日	場 所	受付者数	献血者数
7月18日	星川ショッピングセンター	59名	38名
8月18日	イオン大安店	105名	74名

(2) ウィンター献血キャンペーンの実施

開催日	場 所	受付者数	献血者数
12月15日	イオン大安店	74名	54名
1月22日	星川ショッピングセンター	49名	42名

(3) スプリング献血キャンペーンの実施

開催日	場 所	受付者数	献血者数
3月18日	星川ショッピングセンター	67名	57名

(4) 市町別献血状況

区分	年度	献血量	計	桑名市	いなべ市	桑名郡	員弁郡	三重郡		
						木曽岬町	東員町	菟野町	朝日町	川越町
献血者数	20	200ml	1	1	-	-	-			
		400ml	3,549	2,325	757	87	380			
	21	200ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		400ml	4,371	2,232	731	67	376	481	182	302
	22	200ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		400ml	4,205	2,173	733	65	252	457	187	338
	23	200ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		400ml	4,249	2,229	766	75	244	439	173	323
	24	200ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		400ml	3,499	1,867	651	62	191	293	172	263

基本事業13403 生活衛生営業の衛生水準の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準、意識の向上と自主管理体制の定着に努めます。
2. 理容・美容所等の立入調査や旅館・モーターの監視指導を行っていきます。

1 環境衛生

環境衛生営業施設について、環境衛生監視員が各法令に基づき、公衆衛生上遵守すべき事項について監視指導を行った。

また、時代のニーズに対応した新しい施設が増加しつつあることから、営業の近代化、合理化のための必要な指導、助言を行った。

(1) 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	区分	施設数 (2012.3.31現在)	監視指導件数	開設数	廃止数
理容所		246	25	5	6
美容所		390	40	15	6
クリーニング所		348	7	3	0
公衆浴場		61	22	0	1
興行場		12	6	3	2
旅館業		146	33	1	5
合計		1,203	133	27	20

「興行場」の監視指導件数及び開設数、廃止数は仮設営業によるものを含む。

基本事業13404 人と動物との共生環境づくり

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。
2. 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。
3. 犬とはどういう動物であるかを実体験を通して理解してもらうことにより、正しい理解のもとに生命を尊重する精神を育むこと、また、犬による危害の被害者が減少すること、更には、盲導犬等の紹介を通して、人と動物が共生している事を学んでもらうことを目的として、小学生、幼稚園児、保育園児等を対象に「犬との接し方教室」を実施します。
4. 保健所で引取った犬(子犬及び成犬)を適正飼養ができる飼い主へ譲渡し、生存の機会を設けるため、「動物を飼う前教室」受講申込を受付ます。
5. 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業登録手続きを実施します。

1 狂犬病予防

狂犬病予防法及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、狂犬病発生防止に努めるとともに、関係市町の協力の下に畜犬の収容、放し飼い防止などの飼育指導を行い、畜犬による人畜その他の危害の発生防止に努めた。なお、猫の収容も行った。

(1) 畜犬捕獲等業務

年度	畜犬捕獲及び収容頭数	返還頭数	咬傷犬届出件数	猫引取数
平成16年度	290	44	17	290
平成17年度	290	49	16	243
平成18年度	255	25	16	266
平成19年度	232	41	14	236
平成20年度	217	37	13	310
平成21年度	201	46	11	258
平成22年度	220	38	28	341
平成23年度	227	59	19	388

(2) 犬に関する苦情受付件数

総数	係留義務違反(放し飼い)	迷惑・モラル等(ふん・鳴き声等)	咬傷事故	野犬捕獲依頼	飼い犬引取り依頼	その他
1,167	30	42	66	134	158	737

(3) 猫に関する苦情受付件数

総数	放し飼い	迷惑・モラル等(ふん・鳴き声等)	野良猫の捕獲について	野良猫引取り依頼	飼い猫引取り依頼	その他
294	0	30	19	107	19	119

2 動物愛護

(1) 動物愛護の絵・ポスター募集

動物愛護週間行事の一環として各小学校、中学校の児童生徒を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集し、入賞作品の展示を実施した。

ア．動物愛護の絵・ポスター応募枚数

	応募枚数	入賞枚数
小学校	1,561枚	5枚
中学校	159枚	3枚

イ．動物愛護の絵・ポスター入賞作品展

期間	会場
平成23年10月20日～10月26日	イオン桑名ショッピングセンター1番街ジャディーモール

(2) 動物を愛護する心の啓発事業

人と動物とのかかわりについて学ぶ機会と動物愛護意識の高揚に向けた啓発を充実させるため、小学校の児童を対象に出前教室などの事業を行った。(三重県動物愛護管理センター(財団法人三重県小動物施設管理公社)との協働事業)

開催状況

開催回数	参加者数
7回	349人

3 動物飼う前教室

保健所に収容した犬を適正飼養ができる飼い主へ譲渡を行うことで、生存の機会を設け、動物の愛護及び生命の尊重の精神の周知を図ることを目的に実施した。(保健所で受講申込を受付し、三重県動物愛護管理センターにて動物飼う前教室を定期的開催)

(1) 受講申込数 12人

4 動物取扱業

(1) 動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況

動物の愛護及び管理に関する法律(平成17年6月22日改正)により平成18年6月1日より、動物取扱業は登録が必要となった。この登録のあった施設の監視指導を行った。

動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況

施設数	登録数	廃止数	監視指導件数
95件	26件	21件	37件

施策141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実
基本事業14101 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 保険者への指導及び支援、サービス事業者等への指導及び支援、認定審査会委員現任研修の実施、介護保険審査会(要介護認定に係る不服申し立て)の設置を行います。

1 介護保険制度

介護が必要な高齢者を社会的に支援するための介護保険制度を円滑に実施するため、介護保険制度の適正執行への支援を行った。

(1) 要支援・要介護認定状況

(平成24年4月1日現在)

保険者	計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
管内計	20,634	3,140	2,471	4,034	3,357	2,691	2,678	2,263
桑名市	4,924	780	506	871	1,002	622	617	526
いなべ市	1,683	203	198	374	269	206	258	175
木曾岬町	177	13	24	26	29	28	25	32
東員町	689	38	85	129	151	106	97	83
菰野町	1,335	119	112	249	261	251	171	172
朝日町	283	55	28	70	45	33	22	30
川越町	432	58	59	81	65	62	58	49
四日市市	11,111	1,874	1,459	2,234	1,535	1,383	1,430	1,196
三重県計	83,865	9,878	10,607	15,887	15,217	12,062	10,767	9,447

(注) 三重県の数値については、平成23年12月末現在

(2) 介護保険認定審査会委員現任研修

日時	場所	内容	参加者数
平成23年7月8日 19:30~21:00	桑名市 大山田コミュニティプラザ	『要介護認定・要支援認定における見方・考え方』	49名
平成23年10月3日 19:30~21:00	四日市市総合会館	〃	60名

(3) サービス事業者指定事務

各サービス事業者の申請の受付事務(記入漏れ、添付書類漏れ等の確認)を実施。

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験関係事務

試験関係案内配布: 平成23年6月22日から7月15日まで

(5) 介護保険審査会の開催状況

要介護認定に関する不服申し立てに対し、審査判定をする介護保険審査会を設置。

裁決件数 1件 (平成23年度)

区分	審査請求件数	取り下げ件数	裁決結果				
			審理中	却下	認容	棄却	
桑名保健福祉事務所 (桑名地域)	1	0	1	0	0	1	0
桑名保健福祉事務所 (三泗地域)	0	0	0	0	0	0	0
三重県	4	0	4	1	0	2	1

基本事業14102 介護基盤の整備促進

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 「三重県高齢者保健福祉計画」に基づき、年度別に地域の実情を勘案し、介護保険施設や介護老人福祉施設等の施設整備を的確に行っていきます。

1 高齢者福祉

(1) 在宅高齢者の状況

平成24年4月1日現在

市町名	65才以上人口 (人)	65才以上人口比 (%)	一人暮らし老人 (65才以上)(人)
計	128,839	21.5	15,555
桑名市	30,140	21.1	3,140
いなべ市	10,470	23.1	1,452
木曽岬町	1,567	23.0	105
東員町	5,340	20.6	328
菰野町	9,143	22.2	545
朝日町	1,780	18.1	201
川越町	2,509	17.5	330
四日市市	67,890	21.6	9,454

(2) 高齢者保健福祉施設及び介護サービス事業所数

平成24年4月1日現在

サービス種別 市町名	入 所 施 設											
	養護老人ホーム		特別養護老人ホーム		軽費老人ホーム		ケアハウス		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床
計	4	290	24	1,563	2	100	7	350	20	1,681	13	366
桑名市	1	50	4	245	0	0	0	0	6	487	6	182
いなべ市	1	70	2	100	0	0	0	0	1	100	0	0
木曽岬町	0	0	1	60	0	0	0	0	2	80	0	0
東員町	0	0	1	50	0	0	1	50	0	0	0	0
菰野町	1	50	2	140	0	0	1	50	3	350	1	8
朝日町	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0
川越町	0	0	0	0	0	0	1	30	1	80	0	0
四日市市	1	120	13	918	2	100	4	220	7	584	6	176

サービス種別 市町	居宅介護サービス事業所											
	訪問介護	訪問入浴	訪問看護ステーション	居宅療養管理指導	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護	特定施設入居者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援
計	96	9	25	12	4	210	35	32	27	7	27	139
桑名市	19	0	5	2	0	64	4	4	9	2	7	37
いなべ市	5	0	3	1	0	28	3	3	1	2	2	10
木曽岬町	1	0	0	0	0	4	1	1	0	0	1	2
東員町	8	0	1	1	0	14	0	2	0	0	0	8
菰野町	3	1	3	1	0	9	5	2	4	1	1	8
朝日町	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1
川越町	3	1	0	0	4	3	1	1	1	0	1	3
四日市市	56	7	13	7	0	86	21	18	12	1	15	70

訪問看護、訪問リハビリ、居宅療養管理指導は医療機関みなし指定分を除く

サービス種別 市町	地域密着型サービス		
	認知症対応型通所介護	特別養護老人ホーム	グループホーム
計	26	7	35
桑名市	6	1	13
いなべ市	2	0	4
木曽岬町	0	0	1
東員町	2	0	2
菰野町	1	0	3
朝日町	0	0	1
川越町	0	1	3
四日市市	15	5	8

施策142 障がい者の自立と共生

基本事業14201 障がい者福祉サービスの基盤整備の推進

(主担当:福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 障がいのある人が地域で活動する場を確保するため、通所施設および市町が行う日中活動支援事業、小規模作業所事業等への支援を行います。

1 障がい者小規模作業所事業費補助金

就業又は一般企業に雇用されることが困難な障がい者及び社会参加の機会が必要な在宅の障がい者に対し、集団による作業活動・訓練、創作活動、生活交流の場を提供するとともに、生活指導、作業指導等必要な指導支援を行い、障がい者の社会参加の促進及び社会的自立と福祉の向上を図る小規模作業所に対し、経費を支弁する市町に補助を行った。

(1) 障がい者小規模作業所事業費補助金

年度	補助作業所数	金額
平成22年度	5箇所 (内訳) 四日市市 2箇所 菰野町 1箇所 朝日町 1箇所 川越町 1箇所	13,132千円
平成23年度	3箇所 (内訳) 四日市市 1箇所 菰野町 1箇所 朝日町 1箇所	6,720千円

基本事業14202 障がい者福祉サービスの充実

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

- 障がいのある人の社会復帰に向け、障がいを軽減するための医療を提供するとともに、機能障がいを補う補装具などの交付を行う市町を支援します。

1 障がい者福祉

(1) 身体障害者手帳所持者の障がい別状況

3市5町における身体障害者手帳の所持者(児)数は19,944人であり、これを障がい別に見ると、視覚障がい6.0%、聴覚障がい9.4%、音声言語障がい1.1%、肢体不自由が53.3%、内部障がい30.2%となっている。

平成24年4月1日現在(単位:人)

障害区分 市町名	視覚	聴覚・平 衡	音声・言 語そしゃ く	肢体不自由	内部障がい	計	うち児 童
前年度	1,191	1,871	217	10,584	5,944	19,807	458
桑名市	278	397	47	2,387	1,419	4,528	112
いなべ市	91	168	26	1,000	448	1,733	35
木曽岬町	13	8	5	98	63	187	0
東員町	49	81	12	458	269	869	15
菰野町	76	127	11	831	422	1,467	32
朝日町	10	22	2	111	71	216	5
川越町	20	36	2	233	123	414	5
四日市市	656	1,037	116	5,515	3,206	10,530	249
管内計	1,193	1,876	221	10,633	6,021	19,944	453
構成比	6.0%	9.4%	1.1%	53.3%	30.2%	100.0%	

(2) 療育手帳所持者の状況

3市5町における療育手帳の所持者(児)数は3,462人であり、対前年比では3.3%の増加となっている。

等級別内訳では、A(最重度・重度)は3.6%の増加、B(中度・軽度)は3.0%の増加となっている。

平成24年4月1日現在(単位:人)

区 分 市町名	計 ()内は、児の内数	等級A	等級B
前年度	3,352 (963)	1,559 (339)	1,793 (624)
桑名市	792 (231)	367 (86)	425 (145)
いなべ市	272 (68)	141 (24)	131 (44)
木曽岬町	32 (6)	14 (1)	18 (5)
東員町	117 (31)	65 (10)	52 (21)
菰野町	266 (69)	142 (26)	124 (43)
朝日町	40 (17)	22 (6)	18 (11)
川越町	76 (21)	39 (10)	37 (11)
四日市市	1,867 (541)	825 (195)	1,042 (346)
管内計	3,462 (984)	1,615 (358)	1,847 (626)
構成比	100.0%	46.6%	53.4%

2 障がい福祉サービス事業所

平成24年4月1日現在(単位:人)

施設の種類	指定事業所名	市町名	定員
指定生活介護事業所	多機能型事業所清和ワークキャンパス	四日市市	25
	障害者自立支援施設たんぼぼ	四日市市	35
	指定生活介護事業所 サクラノ園	四日市市	33
	指定生活介護事業所 南部サクラノ園	四日市市	7
	コミュニティハウス・オレゴン	四日市市	24
	ゆったりクラブ	四日市市	6
	あおぞらワーク	四日市市	24
	サポートセンターあいづる	四日市市	10
	オンリーワン	四日市市	13
	わかたけ萩の里	四日市市	40
	ランチ スプリング	四日市市	10
	「風の家」	四日市市	10
	ぶらま	四日市市	20
	桑名市障害福祉サービス桑名福祉センター	桑名市	13
	桑名市障害福祉サービス多度すこやかセンター	桑名市	8
	障がい者サポートセンター のぞみの里	桑名市	20
	夢の風	桑名市	20
	広陽園	桑名市	20
	生活介護事業所 あじさいの家	いなべ市	6
	山郷重度障害者生活支援センター	いなべ市	14
	いなべ市障害者活動支援センター	いなべ市	30
	たんぼぼ作業所	いなべ市	20
	ふじわら作業所	いなべ市	30
	生活介護ステーションTOINあーち	東員町	20
	ワークセンターひのき	菰野町	30
	イーエスケレヨン	菰野町	20
グリーンランド	菰野町	34	
よつばの里	川越町	20	
指定施設入所支援事業所	障害者支援施設 エビノ園	四日市市	77
	指定障害者支援施設 聖母の家	四日市市	80
	障害者支援施設 小山田苑	四日市市	80
	垂坂山ブルーミングハウス	四日市市	40
	清和苑	四日市市	40
	障害者支援施設 くわのみ	桑名市	40
	あさけ学園	菰野町	40
	障害者支援施設 菰野聖十字の家	菰野町	60
指定自立訓練(生活訓練)事業所	かすみヶ浦ブルーミングハウス	四日市市	20
指定就労移行支援事業所	手作り工房あゆみ	四日市市	6
	みどりの家 日永	四日市市	10
	みどりの家 河原田リサイクルセンター	四日市市	10
	かすみヶ浦ブルーミングハウス	四日市市	20
	みのり工房	四日市市	10
	障害者ITカレッジ四日市	四日市市	10
	就労移行・継続B型 来未 - KURUMI -	桑名市	6
指定就労継続支援(A型)事業所	ランチ スプリング	四日市市	10
	ユーユーハウス	四日市市	20
	サルビア	四日市市	20
	ジョブズ四日市	四日市市	20
	アネラ四日市	四日市市	20
	オーク	四日市市	20
	ふたば	四日市市	20
	四季	四日市市	20
	サンシグリーンサポート	四日市市	10
	ジョブズ塩浜	四日市市	20
	障害者ITカレッジ四日市	四日市市	10
	ひまわり	桑名市	20
	就労継続支援A型すずらん農園	桑名市	20
指定就労継続支援(B型)事業所	手作り工房あゆみ	四日市市	30
	みのり工房	四日市市	30
	あおぞらワーク	四日市市	36
	みどりの家 河原田リサイクルセンター	四日市市	10
	おのえ作業所	四日市市	20
	日永福祉作業所	四日市市	15
	作業所来夢	四日市市	20
	サポートセンターあいづる	四日市市	10
	オンリーワン	四日市市	12

施設の種類	指定事業所名	市町名	定員
指定就労継続支援 (B型)事業所	ランチ スプリング	四日市市	20
	みはま作業所	四日市市	12
	障害者自立支援施設 あさけワークス	四日市市	20
	障害者自立支援施設 共栄作業所	四日市市	37
	フェア・ワークス T R E S	四日市市	17
	フェアワークス 下野	四日市市	17
	わかば共同作業所	四日市市	20
	らふかっと	四日市市	20
	多機能型事業所清和ワークキャンパス	四日市市	10
	就労移行・継続B型 来未 - KURUMI -	桑名市	14
	夢工房	桑名市	20
	みのり作業所	桑名市	20
	デリカ工房「くわのみ」	桑名市	14
	千姫	桑名市	20
	ワークショップみらい	桑名市	14
	バオバブの樹	桑名市	20
	広陽園	桑名市	10
	障害者サポートセンターのぞみの里	桑名市	40
	いなべ市障害者活動支援センター	いなべ市	10
	麵工房「はな」	いなべ市	10
	きのこの森	いなべ市	20
	たんぼぼ作業所	いなべ市	20
	ふじわら作業所	いなべ市	10
	あじさい	いなべ市	20
	木曽岬町さくら作業所	木曽岬町	10
	T O I N いずみ	東員町	20
	ひなたくらぶ	東員町	20
	ワークセンターひのき	菰野町	10
	菰野町わかば作業所	菰野町	30
	障害者就労継続支援事業所「にじ」	菰野町	20
	朝日町ひまわり作業所	朝日町	15
	川越町くろがね作業所	川越町	15
ワークセンターよつばの里	川越町	20	
指定相談支援	障害者相談支援センター ソシオ	四日市市	-
	HANA	四日市市	-
	相談支援事業所「ブルーム」	四日市市	-
	相談支援事業所陽だまり	四日市市	-
	いなべ市社協相談支援事業所	いなべ市	-
	アジサイ	いなべ市	-
グループホーム ・ケアホーム	障害福祉サービス事業所「ブルーミング」	四日市市	43
	聖母の家ホーム	四日市市	45
	わかたけホームすまいる	四日市市	11
	コミュニティセクション共同生活住居	四日市市	32
	C H 四季の里	四日市市	90
	共同生活援助事業所共同生活介護事業所しらとりホーム	四日市市	8
	富田ハウス	四日市市	4
	清和ホーム	四日市市	7
	オレンジライフ	四日市市	4
	G & C ホームつうきん	四日市市	20
	グループホームあやめ	桑名市	29
	ケアホーム つばさ	桑名市	10
	てまり花	いなべ市	20
	なでしこ1	いなべ市	10
	なでしこ2	いなべ市	10
	なでしこ3	いなべ市	6
	一体型指定共同介護等事業所 高柳ホーム	東員町	4
	ゆきわり草第1	東員町	4
	ゆきわり草第2	東員町	4
	つくしの家	東員町	4
	つくしの家第2	東員町	7
	ケアホーム・グループホーム T O I N	東員町	20
	あさけホーム	菰野町	21
	ケアホーム さとなか	川越町	10

基本事業14204 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 休日及び夜間における精神疾患の急性発症等に対応するため、精神科病院の輪番制による精神科救急医療体制を確保します。

1 精神保健医療対策事業

(1) 通院医療費公費負担事務

(審査月別申請件数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	7,136	744	357	829	516	588	493	503	680	497	508	690	731
平成21年度	7,946 (902)	763	630	585	543	717	546	637	610	557	681 (74)	718 (270)	959 (558)
平成22年度	8,020	1,026	685	645	665	599	542	691	609	667	571	616	704
平成23年度	8,859	843	542	707	768	643	779	703	506	790	663	1,008	907

H21年度から診断書が2年に1回の添付となったため、保健所承認件数含む(再掲)
(年度末人員数)

市町名	合計	桑名市	木曾 岬町	いな べ市	東員 町	菟野 町	朝日 町	川越 町	四日市市
平成20年度	6,834	1,523	62	397	205	441	103	161	3,942
平成21年度	7,317	1,639	68	437	225	498	127	164	4,159
平成22年度	7,891	1,765	67	482	240	540	136	171	4,490
平成23年度	8,233	1,842	65	512	248	544	140	176	4,706

(2) 精神保健措置事業

区分 年度	申請・通報件数					指定医診察結果		保護申請に基づく調査により		
	計	法23 条	24条	法26 条の2	法27 条の2	法29条該当	29条非該当	他の福 祉施設	指定医 診察不 要	その他
平成20年度	17		16		1	10	5		2	
平成21年度	10		10			5	4		1	
平成22年度	12		12			7	5			
平成23年度	13		13			8	5			

(3) 疾患別措置入院者の状況

(平成23年度中の法29条該当内訳)

性別	疾患別	総数	統合 失調 症	そう うつ 病	心因 反応	非精 定神 型病	てん かん	知的 障害	神経 衰弱	アル コール 性精神 病	その 他
	総計	計	8	6	1						
男		7	5	1							1
女		1	1								

基本事業14205 障がい者の社会参加環境づくり

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加を目的に精神保健福祉相談及び訪問指導等を実施しています。
2. 精神障がい者の家族が、疾患についての知識や理解を深めるとともに、お互いの交流を図り日頃の悩みを話し合いながら支え合う体制づくりのため、家族会の活性化及び機能強化を図ります。

1 精神障がい者地域生活支援事業

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

	年度末人員	級 別 内 訳			
		1 級	2 級	3 級	
平成21年度	2,417	400	1,555	462	
平成22年度	2,660	431	1,741	488	
平成23年度	2,824	438	1,871	515	
年度内訳	桑名市	922	194	616	112
	いなべ市	170	20	123	27
	木曽岬町	26	6	14	6
	東員町	78	19	48	11
	菰野町	164	23	103	38
	朝日町	35	1	26	8
	川越町	48	3	37	8
	四日市市	1,381	172	904	305

(2) 精神障がい者保健福祉相談指導事業

在宅の精神障がい者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談を行った。また、月1回、専門医による精神保健福祉相談を行った。

区分	面接件数		訪問件数		電話等件数
	実人員	延人員	実人員	延人員	延件数
平成21年度	76	120	15	77	484
平成22年度	76	102	9	17	152
平成23年度	73	120	17	42	387

区分	専門医による面接相談件数	
年度	実人員	延人員
平成23年度	32	34

面接件数より抜粋

2 精神障がい者社会復帰推進事業

(1) 危機予防・危機介入

ア 処遇困難事例への対応(ケア会議の実施・ケア会議への参加)

措置入院患者の退院後のサポート体制の構築、また、処遇困難事例のサポート体制を整えることを目指した支援に重点的に取り組んだ。

6事例について、延べ8回のケア会議を開催した。

(2) 地域支援体制（ネットワーク）の整備

ア 精神保健福祉ボランティア講座への支援

「精神保健福祉ボランティア講座実行委員会（桑名市社会福祉協議会・桑名市・ワークルーム桑友・はあぶ工房Together・千姫・障がい者総合支援センターそういん・来未-KURUMI-・桑名保健福祉事務所）」を立ち上げ、講座内容や運営方法等について検討を行った。

内容は、講義、グループワーク、体験実習などが中心であり、全7回シリーズとした。受講生は、27名であった。

イ 地域家族会（しぐれ会）への支援

「講演会（こころがつらいときありませんか）と相談会」への支援

しぐれ会が主催となり、「もっと精神障がいを知ろう実行委員会」を組織した。メンバーは、しぐれ会・桑名市・桑名市社会福祉協議会・ワークルーム桑友・はあぶ工房Together・千姫・障がい者総合支援センターそういん・来未-KURUMI-・桑名保健福祉事務所の9機関である。

目的は、精神疾患の早期発見・早期支援とし、内容は、一部が講演会「こころがつらいときありませんか」（講師は高森信子氏）で、二部が相談会という構成とした。相談会では、こころの相談・思春期相談・家族会相談・当事者会相談などのブースを設けた。

参加者は120名、相談者は13名であった。

ウ 桑員地域生活移行促進部会（NEX）運営の支援

実施主体は、障がい者総合支援センターそういんであり、精神障がい者地域移行支援事業の促進と地域支援ネットワークの構築を目指している。

定例会の開催：6回

ワーキンググループ1の開催：5回

内容：桑員地域の社会資源マップの作成

ワーキンググループ2の開催（4回）

内容：WRAP（元気回復行動プラン）に関する研修会の実施。

「WRAPみえ」との協働開催。

「地域で暮らそうin多度」への協力

多度あやめ病院において、入院患者とピアサポーターの交流会を実施。

ピアサポーター3名と患者15名が茶話会をしながら交流。

エ 桑名市精神保健福祉業務連絡会運営の支援

実施主体は、桑名市障害福祉課である。3つのサービス事業所（千姫、ワークルーム桑友、来未-KURUMI-）障がい者総合支援センターそういん・桑名保健福祉事務所が参加している。

行政とサービス事業所が連携する場となっており、今年度は、各サービス事業所における防災時の体制について情報交換をはかった。延べ10回開催した。

オ 三泗地域精神保健福祉連絡会

日程：平成24年2月16日

四日市市保健所が主催である。危機介入にあたり、関係者が適切な対応ができるよう情報交換することを目的としている。

四日市市以外に、三重郡3町も含めた協議を行っている。

カ 桑員地域精神保健福祉連絡会議の実施

日程：平成23年12月8日

目的は、危機管理体制の構築であり、情報交換と課題の共有を行った。

参加者は、2警察（桑名、いなべ）・桑名消防署・4精神科病院（北勢・東員・大仲さつき・多度あやめ）・精神科クリニック代表（松原クリニック）、障がい者総合相談支援センターそういん、4市町（桑名市、いなべ市、東員町、木曾岬町）。

(3) 精神障がい者通院患者リハビリテーション事業

精神障がい者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障がい者の社会復帰を図った。

年 度	協力事業所 (訓練人数)	
平成20年度	はあぶ工房	(1人)
	(有) 丹羽産業	(2人)
	(有) だいち	(1人)
	(有) ペルグリーン	(1人)
平成21年度	はあぶ工房	(1人)
	(有) 丹羽産業	(1人)
	(有) ペルグリーン	(1人)
平成22年度	はあぶ工房	(1人)
	(有) 丹羽産業	(1人)
平成23年度	(有) フジタ	(2人)

施策143 支え合いの福祉社会づくり
基本事業14301 地域福祉活動と権利擁護の推進

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 住民の身近なところで福祉サービスを必要とする人の立場に立って相談・支援を行う民生委員・児童委員の活動を促進するため、適正な配置を確保するとともに、資質向上のための研修を行います。

1 民生委員・児童委員等配置状況

(1) 民生委員・児童委員数

平成24年4月1日現在

	民生委員・児童委員		主任児童委員(再掲)	
	定数	配置数	定数	配置数
合計	1,120	1,120	101	101
桑名市	250	250	24	24
いなべ市	100	100	8	8
木曽岬町	13	13	2	2
東員町	52	52	4	4
菰野町	75	75	5	5
朝日町	17	17	2	2
川越町	26	26	2	2
四日市市	587	587	54	54

(2) 身体障がい者、知的障がい者相談員数

平成24年4月1日現在

	計	身体障がい者相談員	知的障がい者相談員
合計	37	21	16
桑名市	8	4	4
いなべ市	4	3	1
東員町	1		1
木曽岬町	1	1	
菰野町	3	2	1
朝日町	0		
川越町	1		1
四日市市	19	11	8

2 社会福祉施設等

(1) 社会福祉施設等の状況

平成24年4月1日現在(単位:ヶ所)

設置区分	市 町 名 設置種別	合計	市 町 名									県計
			桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市		
生活保護施設	救護施設	2					2					3
児童福祉施設	助産施設	2		1							1	11
	乳児院	1									1	2
	母子生活支援施設	2	1								1	5
	児童養護施設	2	1								1	11
	情緒障害児短期治療施設	1	1									1
	知的障害児施設	1									1	4
	障害児短期入所事業所	1									1	1
	児童自立生活援助事業	1	1									1
	児童館	13	3	3				1	2	4	48	
	保育所	111	26	15	2	6	7	1	4	50	440	
	児童発達支援事業所	3	1								2	22
	放課後等デイサービス	2	1								1	20
	老人福祉施設	養護老人ホーム	4	1	1				1			1
特別養護老人ホーム		31	5	2	1	1	2	1	1	18	127	
軽費老人ホーム(A・B型)		2								2	4	
ケアハウス		7				1	1		1	4	32	
老人福祉センター		13	5	2	1		1	1	1	2	33	
有料老人ホーム		48	21	3		4	2	1		17	115	
グループホーム		34	13	3	1	2	3	1	3	8	161	
認知症疾患医療センター		1				1						4
老人介護支援センター		31	3		1		2			25	102	
介護老人保健施設		20	6	1	2		3		1	7	64	

設置区分	市 町 名	合 計	桑名 市	いな べ市	木曾 岬町	東員 町	菰野 町	朝日 町	川越 町	四日 市市	県 計
	設置種別										
障がい者 福祉施設	指定生活介護事業所	28	5	5		1	3		1	13	99
	指定就労移行支援事業所	7	1							6	15
	指定就労継続支援(A型)事業所	13	2							11	21
	指定就労継続支援(B型)事業所	42	9	6	1	2	3	1	2	18	161
	指定生活訓練事業所	1								1	6
	指定施設入所支援事業所	8	1				2			5	38
	指定相談支援事業所	6		2						4	28
	グループホーム・ケアホーム	24	2	5		5	1		1	10	75
	自閉症・発達障害支援センター	1					1				2
	障害者就業・生活支援センター	2	1							1	7

基本事業14305 生活困窮者の生活保障と自立支援

(主担当: 福祉相談室 生活保護課)

主な取組内容

- 生活困窮者に対し、「生活保護法」に基づく生活保障を行うとともに、その自立を助長するため、それぞれの世帯の実情に応じた指導、助言を行います。

1 生活保護

(1) 保護の状況

平成24年3月31日現在、管内の被保護者世帯数は313世帯、被保護人員は413人である。保護率は4.3%であり、県平均保護率の9.5%を大きく下回っている。管内では、川越町の8.9%を最高に東員町2.1%が最低となっている。

平成24年3月31日現在

市 町 名	保 護 人 員 (人)	保 護 世 帯 数 (世帯)	保 護 率 (%)
合 計	413	313	4.3
木 曽 岬 町	16	11	2.3
東 員 町	54	43	2.1
菰 野 町	191	147	4.8
朝 日 町	27	23	2.8
川 越 町	125	89	8.9

(2) 世帯類型別保護世帯数

平成24年3月31日現在

区 分	郡 部	
	世 帯 数 (世帯)	構 成 比 (%)
計	313	100.0
高齢者世帯	133	42.5
母子世帯	16	5.1
傷病者・障害者世帯	94	30.0
その他世帯	70	22.4

(3) 保護開始・廃止の原因別状況(平成23年度)

区 分	郡 部		
	世 帯 数 (世帯)	構 成 比 (%)	
開始	総数	68	100.0
	傷 病	8	11.8
	稼働収入・手持金等の喪失減少	32	47.0
	その他	28	41.2
廃止	総数	64	100.0
	死亡・転出・施設入所等	33	51.6
	就労開始・年金受給等	14	21.9
	傷病治癒	0	0.0
	その他	17	26.6

第2節「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政策1 人権の尊重と多様性を認め合う社会

～一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会～

施策212 男女共同参画の社会づくり

基本事業21204 性別に基づく暴力等への取組

(主担当:福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 女性相談員を配置し、ドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談体制を強化します。

1 女性相談事業

平成14年度から婦人相談員(女性相談員)を配置して、女性が抱えるいろいろな悩みや心配ごとなどの相談に応じている。

平成23年度は次のとおり実施した。

(1) 平成23年度相談件数

	来所	電話	出張・訪問	その他	計
新規・再来相談(実人数)	52	51	16	0	119
延べ件数	281	226	81	0	588

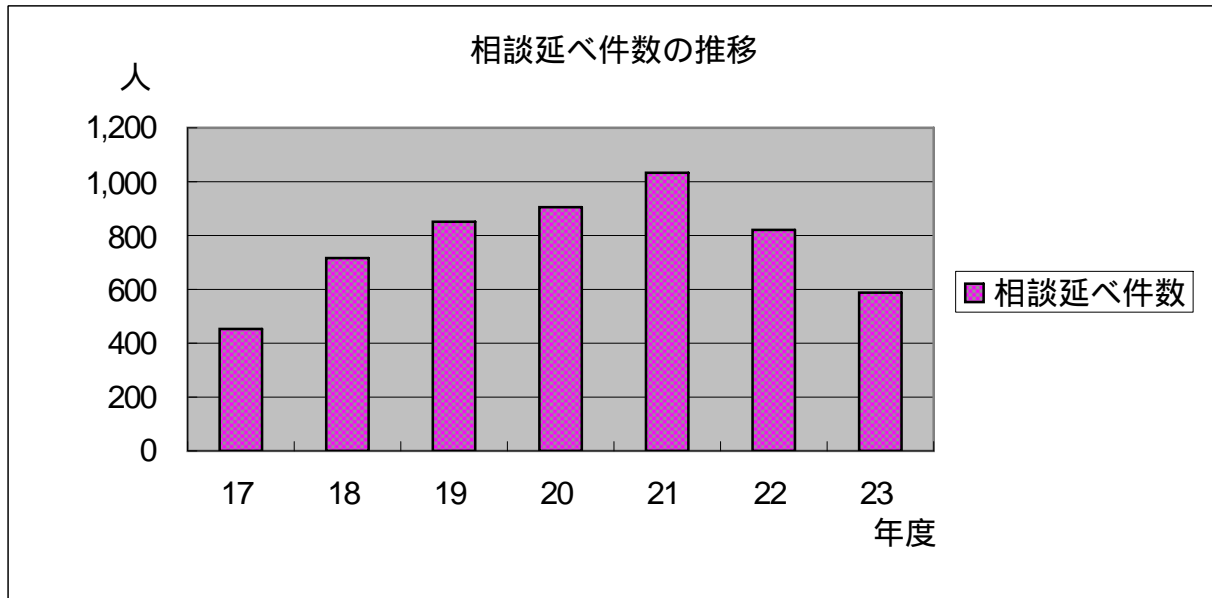
(2) 平成23年度相談主訴別受付状況(新規・再来相談実人数)

		来所	電話	出張・訪問	その他	計	
人間関係	夫等	夫等の暴力	19	4	2	0	25
		酒乱・薬物中毒	0	2	0	0	2
		離婚問題	12	12	7	0	31
		その他	1	2	0	0	3
	子ども	子どもの暴力	1	0	0	0	1
		養育困難	0	0	0	0	0
		その他	2	3	0	0	5
	親族	親の暴力	2	0	0	0	2
		その他の親族の暴力	0	0	0	0	0
		その他	2	4	1	0	7
		交際相手の暴力	0	1	0	0	1
		その他の者の暴力	0	1	0	0	1
		男女問題	4	1	0	0	5
		家庭不和	3	3	0	0	6
	その他	1	8	0	0	9	
経済関係	生活困窮	1	0	1	0	2	
	借金・サラ金	0	1	0	0	1	
	求職	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	0	0	1	
医療関係	病気	0	0	0	0	0	
	精神的問題	1	3	0	0	4	
	妊娠・出産	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	住居問題	3	5	5	0	13	
	帰宅先なし	0	0	0	0	0	
	不純異性交遊	0	0	0	0	0	
	ヒモ・暴力団関係	0	0	0	0	0	
	5条違反	0	0	0	0	0	
	トラフィッキング(人身取引)	0	0	0	0	0	
	合計	52	51	16	0	119	

平成16年度から主訴の分類を変更した。

(3) 相談件数の推移(三重郡含む)

年度	17	18	19	20	21	22	23
相談延べ件数	453	716	851	905	1,033	821	588



施策232 子育て支援策の推進
基本事業23201 保育・放課後児童対策等の充実

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 児童が心身ともに健やかに生まれ、健やかな成長、発達が保障されるように、児童福祉の増進が図られています。

1 児童福祉

(1) 保育所

桑員・三泗地域全体の入所率は96.7%で、年齢構成では、4歳児以上が46.8%を占め、3歳児23.8%、1～2歳児27.0%、0歳児2.4%となっている。

平成24年4月1日現在

市町名	施設数 箇所	定員	入所 児童数	(年齢別内訳)				学齢前 児童数 (18.4.2 ~誕生)	整備率 (%)	
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上			
計	公立	60	6,030	10,565	257	2,842	2,514	4,952	35,495	30.8%
	私立	51	4,890							
桑名市	公立	9	870	2,698	64	716	701	1,217	7,719	35.2%
	私立	17	1,845							
いなべ市	公立	8	890	1,450	7	263	388	792	2,309	65.4%
	私立	7	620							
木曽岬町	公立	2	130	116	0	29	24	63	269	48.3%
	私立	0	0							
東員町	公立	6	370	356	9	110	89	148	1,286	28.8%
	私立	0	0							
四日市市	公立	25	2,390	4,650	146	1,345	1,010	2,149	19,695	23.5%
	私立	25	2,245							
菰野町	公立	6	920	765	16	193	177	379	2,252	43.5%
	私立	1	60							
朝日町	公立	1	200	195	3	73	41	78	957	20.9%
	私立	0	0							
川越町	公立	3	260	335	12	113	84	126	1,008	37.7%
	私立	1	120							

整備率 = 保育所定員 / 学齢前児童数

(2) 管内の児童福祉施設（保育所を除く）の状況

平成24年4月1日現在

施設の種別	施設名	市町名	定員
助産施設	いなべ総合病院	いなべ市	1
母子生活支援施設	桑名山崎苑	桑名市	17
児童養護施設	エスペランス桑名	桑名市	30
情緒障害児短期治療施設	児童心理療育施設 悠	桑名市	入所 40 通所 10
児童自立生活援助事業所	自立援助ホームつばさ	桑名市	6
児童発達支援事業	桑名市療育センター	桑名市	30
放課後等 デイサービス事業所	風の子びれっじ空Kuu	桑名市	10
児童館	いなべ市大安丹生川上児童館	いなべ市	
	いなべ市大安梅戸北児童館	いなべ市	
	いなべ市大安中央児童センター	いなべ市	
	桑名市深谷児童センター	桑名市	
	桑名市深谷北児童センター	桑名市	
	大型児童センターひかり	桑名市	
	朝日町児童館	朝日町	
	川越町つばめ児童館	川越町	
	川越町おひさま児童館	川越町	
助産施設	三重県立総合医療センター	四日市市	34
乳児院	エスペランス四日市	四日市市	25
母子生活支援施設	菜の花苑	四日市市	30
児童養護施設	エスペランス四日市	四日市市	61
知的障害児施設	障害児入所施設 聖母の家	四日市市	55
児童発達支援	四日市市児童発達センター	四日市市	50
	児童発達支援事業所 四日市市立あけぼの学園	四日市市	20
放課後等 デイサービス事業所	聖母の家 放課後等デイサービス事業所	四日市市	10
障害児短期入所事業所	障害児短期入所事業所 聖母の家	四日市市	6
児童館	四日市市児童館 (北部・橋北・塩浜・こどもの家)	四日市市	

基本事業23202 母子保健対策の推進

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 未熟児を対象とした養育医療等を必要とする乳児に対して経費の負担等を行うことで、適切な医療が受けられるよう支援を行います。
2. 妊娠から出産、乳幼児期にいたるまで専門的な育児支援を行います。
3. ハイリスク児の養育支援や市支援等を行うことで、虐待予防に視点をおいた機能強化に努めます。

1 母子保健対策事業

(1) 未熟児訪問事業

未熟児は、身体の発育が未熟なまま出生し、正常児が出生時に有する諸機能を得にくいため、病気にかかりやすく、発育・発達上の問題も生じやすいことから保健師による訪問指導を行った。

	実人員	延人員
平成22年度	25	27
平成23年度	32	34

出生体重2,000g以下の児、養育医療を受給している児、低体重児出生連絡票で訪問希望があった児を中心に支援を行った。
訪問した未熟児32名のうち、23名が出生体重2,000g以下の児であった。

(2) 健やか親子支援事業

ア 事業の目的

心身の発達に問題を抱える子ども及び養育上の問題を持つ保護者とその子どもに対して、支援を行い、状況に応じた適切な助言・指導を行い、養育の負担軽減につなげた。また、関係機関との調整を図ることにより、地域で安心して生活できるよう支援を行った。

イ 実施内容

面接相談

小児慢性特定疾患等の医療費給付申請時に面接を行い、家族の抱える問題点の把握を行った。相談は長期療養児や手術を必要とする児の保護者が多く、特に医療費の助成に関する内容が多数を占めた。

家庭訪問

管内市町や医療機関等の関係機関と連携し、児の発育・発達に問題のある場合のみならず、母親への育児支援にも重点をおき、母親が地域で問題を抱え、孤立化しないよう支援を行った。

	妊産婦	未熟児(再掲)	新生児・乳児 (未熟児除く)	幼児以上
実件数	36	32	13	2
延件数	40	34	13	2

研修会・関係機関連絡会議

内 容	対 象	開催回数
(虐待予防) ・桑名市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・木曾岬町こども虐待及び配偶者の暴力防止ネットワーク ・菰野町要支援親子ケース検討会	虐待防止事業担当者、学校関係者、医療関係者、保健福祉関係者等	13回
(母子保健体制の整備) ・桑員地区乳幼児健診検討委員会 ・いなべ市・員弁郡医師会乳幼児健診検討委員会	小児科医師、産婦人科医師、病院MSW、保健師等	10回
(母子保健体制の整備) 管内母子担当者会議	産婦人科医師、保健師、理学療法士等	5回

ウ 考察及び課題

近年、家族機能の低下や育児不安の問題は深刻化しており、ハイリスクな事案が増えている。こういった場合の支援は早期発見・早期介入が必要である。そこで、管内母子担当者会議において、妊娠中・出産直後の段階で関係機関から情報提供を受け、直ちに支援が開始できる体制づくりを目指し、意見交換や検討を行った。

また、管内では医師会主催の乳幼児健診委員会が開催され、行政と医療機関の連携体制が構築されている。さらに管内小児科医師を中心とした、在宅療養児支援の検討も行っている。

今後も引き続き、医師や関係者と連携しながら母子保健の推進、向上を図っていくこととする。

2 母子医療対策事業

(1) 育成医療

障害者自立支援法第52条により、18歳未満の児童で、このまま放置すれば将来日常生活にかなりの支障を残すと見られる障がいを有しており、手術をすることで確実な治療効果の期待できるものに対し、医療給付を行った。

平成23年度

	総計	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声言語機能障害	先天性心臓障害	腎臓障害	その他の内臓障害	免疫機能障害	小腸機能障害	肝臓機能障害
給付件数	162	32	21	12	45	25	1	26	0	0	0
桑名市	70	13	10	2	20	12	0	13	0	0	0
いなべ市	37	10	4	4	7	7	1	4	0	0	0
木曾岬町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東員町	21	2	2	3	8	1	0	5	0	0	0
菰野町	21	6	1	2	6	3	0	3	0	0	0
朝日町	4	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0
川越町	8	1	1	1	3	1	0	1	0	0	0

(2) 養育医療

身体の発育が未熟のまま出生し、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至っていないため、入院養育が必要と認められる1歳未満の乳児に対し、母子保健法第20条による医療給付を行った。

平成23年度

	計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
承認件数	50	23	10	0	4	6	2	5

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち特定疾患については、治療が長期にわたるため、医療費の負担が高額となる。これを放置することは、児童の健全な育成を阻害することとなるため、小児慢性特定疾患の治療研究事業を行い、もってその研究を推進し、その医療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減を図っている。

(平成24年3月31日現在)

	計	悪性 新生物	慢性 腎疾患	慢性 呼吸器 疾患	慢性 心疾患	内分泌 疾患	膠原 病	糖尿 病	先天性 代謝異常	血友病等 血液疾患	神経・ 筋疾患	慢性消 化器疾 患
給付件数	574	72	52	17	91	206	13	24	21	23	27	28
桑名市	182	21	13	5	30	78	3	5	9	6	4	8
いなべ市	43	6	6	1	9	15	0	2	0	1	2	1
木曾岬町	5	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0
東員町	29	6	2	2	3	9	1	1	0	0	1	4
菰野町	32	7	4	0	6	12	0	1	0	1	0	1
朝日町	9	0	0	2	2	3	0	1	0	0	1	0
川越町	19	0	1	0	2	12	1	0	1	2	0	0
四日市市	255	32	26	7	39	74	7	14	10	13	19	14

(4) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微受精（以下「特定不妊治療」という。）については、1回の治療費が高額であり、経済的負担が重いことから、十分な治療が受けられず、望んでいるにも関わらず子どもに恵まれない方も少なくない。このことにより、平成16年度から特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図っている。

平成23年度

	計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
助成件数	332	180	43	8	27	39	16	19

3 母体保護事業

母体の生命健康を保護することを目的とする母体保護法に基づき届出が行なわれます。

(1) 人工妊娠中絶

(年齢別・在胎週別届出数・平成23年度分)

年齢 在胎週	総数	15歳 未満	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50歳 以上	不詳
総数	934	0	9	9	18	25	28	161	165	200	219	83	10	0	0
満7週以前	600	0	9	3	10	13	16	105	100	133	147	55	9	0	0
8週～11週	282	3	3	3	7	7	11	47	53	60	65	23	0	0	0
12週～15週	25	0	1	2	0	0	1	6	5	5	3	1	1	0	0
16週～19週	22	0	0	0	1	4	0	2	7	2	4	2	0	0	0
20週～21週	5	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

衛生行政報告例から

(2) 不妊手術届出数

(平成23年度分)

区分		年齢	総数	20歳 未満	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50歳 以上	不詳
女	第3 条該 当	第1号該当	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-
		第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		2	0	0	1	1	0	0	0	0	0

衛生行政報告例から

基本事業23203 ひとり親家庭等の自立の支援

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

- 母子及び寡婦福祉資金貸付金や母子家庭自立支援給付金事業により母子家庭等の自立の助長を図ります。

1 母子福祉事業

(1) 母子及び寡婦福祉資金の貸付

母子家庭及び寡婦に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。

(単位：件、千円)

資金名	郡 部		四日市市		桑名市		いなべ市		計			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
母子福祉資金貸付	22年度	8	15,242	62	79,699	8	5,611	3	3,187	81	103,739	
	23年度	8	20,554	62	74,838	7	15,124	1	1,411	78	111,927	
	内 訳	事業開始			1	2,830					1	2,830
		事業継続			1	640					1	640
		修学	5	18,162	27	55,998	7	15,124	1	1,411	40	90,695
		就職支度									0	0
		生活			2	996					2	996
		住宅									0	0
		転宅			1	248					1	248
		医療介護									0	0
		就学支度	2	760	28	12,342					30	13,102
		結婚									0	0
		修業			1	354					1	354
		技能習得	1	1,632	1	1,430					2	3,062
		児童扶養									0	0
寡婦福祉資金貸付	22年度	0	0	3	5,103	0	0	0	0	3	5,103	
	23年度	0	0	1	972	0	0	0	0	1	972	
	内 訳	事業開始										
		事業継続										
		修学			1	972					1	972
		就職支度										
		生活										
		住宅										
		転宅										
		医療介護										
		就学支度										
		結婚										
		修業										
		技能習得										

桑名保健福祉事務所（保健所）の沿革

明治30年(1897年)	伝染病予防法施行
昭和12年(1937年)	保健所法公布
昭和19年(1944年)10月	三重県桑名保健所発足(職員10人) 前身は桑名簡易保険健康相談所(桑名市上野18)
昭和22年(1947年)7月	戦災後桑名郵便局の一室を仮事務所として業務執行(職員16人)
昭和22年(1947年)	新保健所法 、食品衛生法、児童福祉法制定（施行は、3法とも昭和23年1月）
昭和23年(1948年)	児童福祉法、予防接種法、性病予防法施行
昭和23年(1948年)11月	課制(機構)執行(職員27名)
昭和24年(1949年)4月	新庁舎完成移転(桑名市常磐町、敷地215坪、建坪114坪)
昭和24年(1949年)	身体障害者福祉法制定
昭和25年(1950年)	精神衛生法、狂犬病予防法、生活保護法制定
昭和26年(1951年)	結核予防法、社会福祉事業法（平成12年6月 「社会福祉法」に改称）制定
昭和27年(1952年)	栄養改善法制定
昭和27年(1952年)9月	係長制度施行される。
昭和31年(1956年) 8月	薬剤師法、薬事法制定
昭和35年(1960年)	精神薄弱者福祉法制定
昭和35年(1960年)8月	次長制度施行される。
昭和38年(1963年)	老人福祉法制定
昭和39年(1964年)	母子福祉法制定（昭和56年「母子及び寡婦福祉法」に改称）
昭和40年(1965年)	母子保健法制定
昭和45年(1970年)	心身障害者対策法制定
昭和48年(1973年)5月	新庁舎完成移転(桑名市中央町五丁目71番地)
昭和48年(1973年)9月	動物の保護及び管理に関する法律制定（施行は、昭和49年1月）
昭和51年(1976年)4月	機構改革により環境課新設、衛生課を衛生指導課に改称
昭和53年(1978年)4月	機構改革により総務課に検査係新設、普及係を医事統計係に改称
昭和54年(1979年)10月	薬事法改正
昭和61年(1986年)4月	機構改革により総務課医事統計係を廃止、総務係に吸収
昭和62年(1987年)	精神衛生法改正（「精神保健法」に改称）
平成元年(1989年)	後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行

平成5年(1993年)4月	機構改革により総務課 検査係を廃止 、保健婦室を保健指導課に改称、 保健予防課保健係、予防係を保健予防係に統一
平成5年(1993年)12月	心身障害者対策法改正(「障害者基本法」に改称)
平成6年(1994年)6月	地域保健法制定(保健所機能の強化)、関係法律整備 (保健所法、母子保健法、児童福祉法、栄養改善法、医療法、薬事法、伝染病予防法、食品衛生法等)
平成7年(1995年)7月	精神保健法改正(精神障害者保健福祉手帳制度の創設、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に改称)
平成8年(1996年)4月	らい予防法廃止、6月 薬事法改正
平成9年(1997年)4月	地域保健法全面施行
平成9年(1997年)4月	機構改革により企画調整課新設、保健予防課、保健指導課を地域保健課に統一
平成9年(1997年)12月	介護保険法制定(平成12年4月施行)
平成10年(1998年)4月	機構改革により 旧桑名保健所と旧北勢福祉事務所の一部を統合し、児童相談機能を含めて「北勢県民局桑名保健福祉部」として発足(桑名保健所は併置機関として存続) 。 組織体制は、部長(福祉監兼)、保健監(保健所長兼)、副部長のもと、企画総務、健康増進、福祉保健、衛生指導のグループを設置。各グループにグループリーダーを置く。環境課業務を移管する。
平成11年(1999年)4月	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)施行(伝染病予防法、性病予防法、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律廃止)、 4月 精神薄弱者福祉法改正(「知的障害者福祉法」に改称)
	12月 動物の保護及び管理に関する法律改正(「動物の愛護及び管理に関する法律」に改称。施行は平成12年12月)
平成13年(2001年)3月	地域健康危機管理ガイドライン策定(厚生労働省)
平成14年(2002年)4月	チーム、グループ制の導入により、桑名保健福祉部に福祉相談チーム(経営支援、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生チーム(計画調整、健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、チームマネージャー、グループチームマネージャー、グループリーダーを置く。 (保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する)
平成14年(2002年)8月	健康増進法制定(平成15年5月施行)
平成15年(2003年)4月	経営支援グループと計画調整グループを統合して経営企画グループとし、福祉相談チーム3グループ、保健衛生チーム2グループとする。
平成15年(2003年)5月	食品安全基本法制定、食品衛生法改正(リスク分析手法の導入)
平成16年(2004年)4月	チームマネージャー等のカタカナ呼称や組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に福祉相談室(経営企画、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生室(健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。 (保健衛生室長は、保健所長を兼務する。)
平成16年(2004年)12月	発達障害者支援法制定(平成17年4月施行)
平成17年(2005年)4月	組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に企画福祉室(企画市町村支援、福祉の各グループ)、保健衛生室(健康増進、地域保健、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。 (保健衛生室長は、保健所長を兼務する。) 生活保護業務を四日市保健福祉事務所に、児童相談業務を北勢児童相談所に移管。

平成17年(2005年) 4月 薬事法改正

6月 食育基本法制定(平成17年7月15日施行)

6月 動物の愛護及び管理に関する法律改正(平成18年6月1日施行)

10月 障害者自立支援法制定(平成18年4月1日施行)

平成18年(2006年)4月 機構改革により県民局制度が廃止され、健康福祉部直轄の地域機関『桑名保健福祉事務所』となる。

保健福祉事務所-保健衛生室-企画福祉課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課の1室4課体制で、各課に「課長」を置く。

平成18年(2006年) 6月 老人保健法改正(「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正)

12月 精神保健福祉法改正(「精神病院」を「精神科病院」に改める)

12月 結核予防法の廃止。感染症法、予防接種法改正(平成19年4月1日、6月1日施行)

平成20年(2008年)4月 **四日市市が保健所政令市に移行し、四日市市保健所が設置される。**

これに伴う機構改革により、三重県四日市保健福祉事務所は、平成20年3月31日付けで廃止。同年4月1日から、四日市市保健所に移譲されなかった四日市市にかかる保健所業務、三重郡3町にかかるすべての保健所業務が、桑名保健福祉事務所に移管される。

その結果、桑名保健福祉事務所の所管区域は、桑名市、いなべ市、桑名郡木曾岬町、員弁郡東員町、四日市市、三重郡菰野町、同朝日町、同川越町の3市5町となる。

「福祉相談室(北勢福祉事務所)」-福祉課、生活保護課-と、「保健衛生室(桑名保健所)」-総務企画課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課、食の安全・安心監視課-の2室7課体制となり、福祉相談室は三重県四日市庁舎に、保健衛生室は三重県桑名庁舎に執務室を置く。

平成23年(2011年)4月 組織体制の変更により、保健衛生室 食の安全・安心監視課が廃止となり、「福祉相談室(北勢福祉事務所)」-福祉課、生活保護課-と、「保健衛生室(桑名保健所)」-総務企画課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課-の2室6課体制となった。

「四日市市」にかかる数値等の取り扱い

三重県行政機関設置条例(平成17年12月27日三重県条例94号)では、「四日市市」を桑名保健福祉事務所の所管区域と定めていますが、四日市市が保健所政令市に移行したことに伴い、平成20年4月1日より四日市市保健所が設置され、四日市市民の保健衛生や健康の増進に関する事項等を所管しています。

本冊子は、桑名保健福祉事務所の「福祉相談室(北勢福祉事務所)」並びに「保健衛生室(桑名保健所)」が桑名保健福祉事務所として平成23年度中に取り組んだ事業や内容等を中心に取りまとめたものであることから、「四日市市」に関する記述や数値は介護保険法、障害者自立支援法など、県の義務として、直接に関係するものにとどめてあります。